科目コード	R7001	授業科目名			作業療法	去学概論		
履修区分	必修	開講期	1年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者					畑 なみ・平尾 文			
授業の概要	て、わが国の作業		学習する。さら	こ作業療法の「作業」	アーツアンドクラフツ の定義、作業療法の対 いて学習する。			
	①平和を希求する	る心と豊かな人間性を	を身につける					0
DPとの関連		ロ識・技術を基盤にし ちち、自己を変革しつ						O ©
DI CONAE	④地域社会·国際	社会と協働し、人々の	の健康生活の二-	ーズに対応できる能力				Δ
					付けるべき資質・能力 尽くした国内外の先達		とができる。	
到達目標	3. 作業療法の作	業について説明でき	る。 4. 作業療法	去のプロセスを説明で				
履修上の 注意事項					こで知りたいこと、疑問 その自分の仕事を見つ			しながら、作業療
	回数			講義内容			事前·	事後学修
	第1回	作業療法とは1「作	作業」の意味 作詞	業療法の原理(宮崎)			復習課題と感想・気づきシ	作成(60分)
	第2回	作業療法とは2リ	ハビリテーション	いの歴史と作業療法(宮崎)		復習課題と感想・気づきシ	
	第3回 作業療法とは3 作業療法の領域 世界の作業療法(宮崎)							一卜作成(60分)
	第4回	第4回 作業療法の理論1 ICIDHとICF(宮崎)						
	第5回	作業療法の理論2	人間作業モデル	, カナダ作業療法モ	デル(宮崎)		復習課題と感想・気づきシ	-卜作成(60分)
	第6回	作業療法の理論3	地域包括ケアシ	ステムを支える作業	療法の形(MTDLP)(宮崎)	復習課題と感想・気づきシ	卜作成(60分)
+¤₩≑Læ	第7回	作業療法の過程1	作業療法実践の)プロセス(宮崎)			復習課題と感想・気づきシ	-卜作成(60分)
授業計画	第8回	作業療法の過程2	評価と問題点抽	出、計画立案、思考)	過程と態度(宮崎)		復習課題と感想・気づきシ	卜作成(60分)
	第9回	作業療法の実際1	事例紹介(身体障	障害分野)(宮崎)			復習課題と感想・気づきシ	卜作成(60分)
	第10回	作業療法の実際2	事例紹介(精神	障害分野)(川畑)			復習課題と感想・気づきシ	卜作成(60分)
	第11回	作業療法の実際3	事例紹介(発達	障害分野)(平尾)			復習課題と感想・気づきシ	一卜作成(60分)
	第12回	作業療法の実際4	事例紹介(地域	作業療法分野)(宮崎)		復習課題と感想・気づきシ	作成(60分)
	第13回	作業療法倫理と管	理運営 倫理観	記録·報告 診療報酬	(宮崎)		復習課題と感想・気づきシ	卜作成(60分)
	第14回	作業療法の効果検	証 研究・技術開	発(宮崎)			復習課題と感想・気づきシ	卜作成(60分)
	第15回	まとめ 作業療法の)将来 人財育成	;日本OT協会(宮崎)		復習課題と感想・気づきシ	卜作成(60分)
成績	提出された課題語	平価20%と期末試験	80%					
評価方法	ただし、受験資格	を満たしていない場		-				
*****	標準作業療法学標	既論第3版 岩崎テル・		著者(出版社)				√コード 0-02535-5
教科書								
参考書	作業療法の世界	鎌倉矩子・他 三輪書	語					39-2118-5 590-205-2
教員からの メッセージ		t、他の学生、教員への 全習しましょう。職業』			う。"「作業療法」ってな な時間になります。	ふんだろう"と自分	_ 自身に問いかけなが	ら、また学生同士
教員との	研究室に在席して	ているときは、立ち寄	って下さい。また	こ、大学のメール(mi	azhiroy@hcu.ac.	jp)で問いあわせ	て下さい。	
連絡方法								
実務経験の ある教員								

科目コード	R7002	授業科目名				作業学		
	必修	開講期	1年	前期	授業回数	80	単位数	1単位
担当者		11.02.107.10		渡邊	· 哲也		1 1—111	
授業の概要	業」や「作業活動」が		な意味をもつのか	、治療媒体としての	どのような関わりを 「作業」や「作業活動」 。。			
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観をも ④地域社会・国際	心と豊かな人間性? 識・技術を基盤にし ち、自己を変革しつ 社会と協働し、人々(・ポリシー(卒業認定	・ た総合的臨床能力 づける能力を身に の健康生活のニース	- つける ぐに対応できる能力	を身につける	J		Δ Δ © O
到達目標	2)作業と治療の関	ける「作業」の意味に 関連を理解し、説明で 要な身体・精神機能を	けることができる。					
履修上の 注意事項	講義でグループワ い。	ークを行う場合があ	らります。積極的な多	発言を期待します。る	また、提出物について	は、事前に説明す	「あ「期限」や「体裁」を	E厳守してくださ
	回数			講義内容			事前·	事後学修
	第1回	オリエンテーション	, 作業学とは				教科書P2~13から作業に	関する概要を確認しておく。
	第2回	作業療法の手段と	作業の枠組み・対象	食者			教科書P305~365の事 らませる。	例から対象者のイメージを膨
	第3回	作業療法に関連す	る基本的事項	一般的な治療の目的と作業を治療に用いる条件に て理解する。				
	第4回	ライフステージと作業						自分史を考えてみよう。
	第5回	健康増進に向けた	作業				教科書P218~234からとか理解しよう。	建康であるとはどのようなこ
-	第6回	作業における諸理	論				教科書P235~304から 得しておこう。	各理論における予備知識を習
	第7回	精神分析と作業・原	感覚統合と作業				精神科領域と小児領域にな	おける作業療法について見聞
授業計画	第8回	対人援助とコミュニ	ニケーション				実際のコミュニケーション 視点を身に着けておこう。	から自他の行動を認識できる
	第9回							
	第10回							
	第11回							
	第12回							
	第13回							
	第14回							
	第15回							
成績 評価方法		出物(40%)レポー を満たしていない場						
	作業学 ゴールド	マスターシリーズ 改		者(出版社) 『編集(メジカルビ	¬ —計)			Nコード 83-2042-9
教科書	TF# 1 7/1	· // / / / / / / / / / / / / / / / / /		コー・カー・アンファン	<u> </u>		370 4 73	03 2042 7
参考書								
教員からの メッセージ					えていきます。その後 大きく影響する場合だ			
教員との 連絡方法	ポータルサイトから	らの連絡、及びオフィ	ィスアワーに研究棟	307研究室を訪れ	てください。			
実務経験のある教員								

科目コード	R7003	授業科目名			基礎作業	学実習 I					
履修区分	必修	開講期	1年	前期	授業回数	23回	単位数	1単位			
			l	山川	敦史						
授業の概要	味を考え、同時に、 2.「作業」は治療の際に分析してみま	、お互いの「作業」の)目的であり、同時に す。	意味やその人にと 手段です。作業の	っての価値を考えま どんな要素が、治療	す。	揮するのか。「作業	して、学生のみなさん 受分析」の方法を講義 ます。				
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	を身につける					Δ			
551 682+		識・技術を基盤にし						_			
DPとの関連		っち、自己を変革しつ 社会と協働し、 人々の		.つける ズに対応できる能力	 を身につける			© —			
					寸けるべき資質・能力	ל		.i			
到達目標	2.ペドレッティの村	枠組みと、MTDLP「	生活行為向上プラ	ン演習シート」内「生	重を述べることができ 活行為工程分析を用 ら言語的に表現する	別で「作業分析」	を行うことができる。				
履修上の 注意事項		題をいろいろな側面 視点の習得に意欲的			す。将来、対象者の方	の作業を評価・分	析するときの基礎と	なります。これまで			
	回数			講義内容			事前·哥	事後学修			
	第1回	オリエンテーション	・自分の作業につい	いて:作業の概念を	用い自身の作業を挙	げる。	自分の作業を複数挙げて作	F業バランスを考える			
	第2回	作業の意味を考え	る視点(1):吉川の)7側面*参考書2)	を利用して分析		別の作業についても同じ初	点を利用して分析			
	第3回	作業の意味を考え	る視点(2):吉川の	07側面*参考書2)	を利用して分析		別の作業についても同じ視	点を利用して分析			
	第4回	作業の意味を考え	る視点(3):吉川の	07側面*参考書2)	を利用して分析 課題	題①	別の作業についても同じ初	点を利用して分析			
	第5回	作業を分析する枠	組み(ペドレッティ):作業分析の手段を	知る		分析対象にする作業について、必要な情報を調				
	第6回	作業分析演習(ペト	ドレッティ):自分の	作業について分析を	体験 課題②		別の作業についても同じ格	組みで分析を試みる			
	第7回	作業を分析する枠	組み:生活行為向_	上マネジメント(MTI	DLPに略)工程分析を	を利用	工程分析に必要な情報を引	前に準備しておく			
	第8回	作業分析演習:M7	「DLPの枠組みにE	自分の作業を当ては	める 課題③		別の作業についても工程を	がを試みる			
	第9回	遂行技能に親しむ	~運動技能:作業を	をしているときの運	動面の分析		自分の生活行為の中に該当	4する行為を見つけてみる			
	第10回	遂行技能に親しむ	~プロセス(処理):	技能:作業をする際(の知的・効果的な機能	能の分析	自分の生活行為の中に該当	4する行為を見つけてみる			
授業計画	第11回	作業実習(ミサンカ		自分の運動技能・処理技能	に着目し、特徴を記録						
汉未可凹	第12回	作業実習(ミサンガ)(2) 課題④					作業分析および遂行した絡	験をシートにまとめる			
	第13回	作業実習(集団:ち	ぎり絵)(1)				グループ内の交流の様子を客観的に振り返る				
	第14回	作業実習(集団:ち	ぎり絵)(2)				デザインの決定に必要な情	報を調べておく			
	第15回	作業実習(集団:ち	ぎり絵)(3)				自分の運動技能・処理技能	に着目し、特徴を記録			
	第16回	作業実習(集団:ち	ぎり絵)(4)				自分の運動技能・処理技能	に着目し、特徴を記録			
	第17回	作業実習(集団:ち	ぎり絵)(5)				自分の運動技能・処理技能	に着目し、特徴を記録			
	第18回	作業実習(集団:ち	ぎり絵)(6)				自分の運動技能・処理技能	に着目し、特徴を記録			
	第19回	作業実習(集団:ち	ぎり絵)(7)				自分の運動技能・処理技能	に着目し、特徴を記録			
	第20回	作業実習(集団:ち	ぎり絵)(8) 課題	(5)			作業分析および遂行した紹	験をシートにまとめる🛚			
	第21回	プレゼンテーション	/演習(1) 課題⑥				クラスメイトの発表内容と	発表時の様子を評価			
	第22回	プレゼンテーション	/演習(2)				クラスメイトの発表内容と	発表時の様子を評価			
	第23回	プレゼンテーション	/演習(3)				クラスメイトの発表内容と	発表時の様子を評価			
成績 評価方法	(1)期限内に提出した基準に沿って		且みに沿った内容が	が作成されていること	と、(3)発展的な内容	家を含むこと、を基	本に、開講中にルーフ	ブリックとして提示			
	, こ, ここ、 文 柳 東 伯 で	C C C C C C C C C C C C C C C C C C C		者(出版社)			ISBN	リ コード			
教科書	資料を配布します										
少 业争				(編)、メジカルビュー	-社			83-1671-2			
参考書		ろう 作業科学入門 いる COPM・AMP		タ、医歯薬出版 Ĭイド、吉川ひろみ、B	医学書院			3-21667-5 0-00748-1			
教員からの メッセージ	作業療法は「作業」		手段として使います	す。作業の意味を考え		:士を目指すため <i>0</i>)第一歩になると思い				
教員との 連絡方法		原則、在室時は対応可能です。事前にメール・電話で用件を連絡してから訪室してください。 ily-drg@hcu.ac.jp									
実務経験の ある教員	作業療法士として	病院(入院・外来)お	よび在宅(訪問)の	臨床経験をふまえ、	知見を交えた講義を	行います。					

科目コード	R7004	授業科目名			主 体作業	療法演習		
	必修	開講期	1年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	المحادثة	ניאנייון	1-		哲也	134	十四級	1+12
授業の概要	地域の中でどのよ	いて施設及び治療場 ような役割を担ってい 、としての基本的姿勢	ハるのか学ぶ。また	導者から地域におり 医療設備や就労環境	ナる施設や作業療法			
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観をも ④地域社会・国際	3心と豊かな人間性7 ロ識・技術を基盤にし 5ち、自己を変革しつ 対会と協働し、人々(・・ボリシー(卒業認定	た総合的臨床能力で つづける能力を身に の健康生活のニース	- つける に対応できる能力		b		— Δ © O
到達目標	・グループワーク	ナー(挨拶、態度、身かにより見学時のポイン て、興味関心や医療。	ントを明確にすること	とができる。				
履修上の 注意事項		が施設見学は、グルー 見学の際、交通費が!						をとるよう心掛け
	回数			講義内容			事前·	事後学修
	第1回	学内セミナー(オリ	リエンテーション、医!	療人としてのマナ-	-1-1)		一般的な医療職の身なりを よう	をインターネットなどで閲覧し
	第2回	学内セミナー(医療	 ∮人としてのマナー1	1-2)			会話相手にとって良い挨拶	^災 を実践してみよう
	第3回	学内セミナー(身体	本機能領域の作業療	日本作業療法士協会のホームページコラム欄を閲覧 ておく				
	第4回	学内セミナー(精神	申機能領域の作業療	日本作業療法士協会のホームページコラム欄を閲覧ておく				
	第5回	学内セミナー(高齢	冷期-特に認知症の作	作業療法)			日本作業療法士協会のホースおく	ームページコラム欄を閲覧し
	第6回	学内セミナー(発達	達・小児の作業療法)	,			日本作業療法士協会のホー	ームページコラム欄を閲覧し
	第7回	学内セミナー(医療		2-1)			学内セミナー「医療人とし	てのマナー1」を読み返す
授業計画	第8回	学内セミナー(医療	療人としてのマナー2	2-2)			医療職だけでなく、社会人 から学んでおく	の応対マナーを普段の生活
	第9回	施設見学					施設までの交通手段、ルー	トの確認
	第10回	施設見学					見学施設領域の一般的な知	知識を収集しておく
	第11回	施設見学					見学に必要な物品等の確認 み返し	認及びこれまでのノートの読
	第12回	施設見学まとめ1					施設見学によって得た情報	最を整理しておく
	第13回	施設見学まとめ2					施設見学によって得た情報	Wを整理しておく
	第14回	施設見学報告会1					プレゼンテーション方法に く	ついて予備知識を習得してお
	第15回	施設見学報告会2					プレゼンテーション方法に く	ついて予備知識を習得してお
成績 評価方法		回分のセミナーノー を満たしていない場			贤告で達成度を確認 。	する		
	使用しない		書名·著	者(出版社)			ISBI	Nコード
教科書								
参考書								
教員からの メッセージ	本講義は早期体験習の動機づけとし	検学習(アーリーエク) ってください。	スポージャー)という	う位置づけであり、	早い段階で自分の将	来の職業像を作る	_ 5手がかりとなります	これを今後の学
教員との 連絡方法	施設見学は、引率	教員とのコンタクトが	が必要になります。タ	別途連絡手段につい	いてお伝えします。			
実務経験の ある教員								

科目コード	R7005	授業科目名			基礎作業	美学実習Ⅱ			
履修区分	必修	開講期	1年	後期	授業回数	23回	単位数	1単位	
担当者					邊 哲也				
授業の概要	業療法士に求めら 編み物などを実際 動を伴う作業活動	れる。その作業活動 『に習得するために網	かと作業療法の関連 経験することから、 程を習得することが	を学ぶ目的として 作業活動を治療と	は、生活日用品をつく して応用するための『	くり出していた伝統 専門的視点をもつこ	D問題解決方法を探す 的な手工芸である革 ことを狙いとする。身 るまでの全行程を行う	細工・織物・木工・ 本運動と精神的活	
DPとの関連	②修得した専門知	心と豊かな人間性で 識・技術を基盤にし っち、自己を変革しつ	た総合的臨床能力					— © O	
		社会と協働し、人々(・ポリシー(卒業認定			りを身につける 「付けるべき資質・能	<u></u>		—	
到達目標	1. 作業活動の目的 2. 必要に応じた材 3. 安全に配慮した	りや特性について自 材料の調達や道具の 上活動の選択や環境 用いて分析内容をま	分の言葉で表現で 選択ができる。 調整が行える。	きる。	1377 0 1000				
履修上の 注意事項	用すること。道具は		とが多いので、整備				やすく汚れても差し支 ゴミは分別処理するこ		
				講	義内容				
	第1回	オリエンテーション	・作業分析		第16回	革細工(モデリン	グと運動学的分析)		
	第2回	木工(道具・材料・	工程・作成作業の流	れ、設計)	第17回	革細工(カービン	グと運動学的分析)		
	第3回	木工(材料選択・木	取り)		第18回	革細工(スタンピ	ングと運動学的分析)		
	第4回	木工(切断・鋸の使用における運動学的分析)			第19回	革細工(染色と仕	上げ)		
	第5回	木工(のみの使用)	方法と運動学的分析	折)	第20回	革細工(作業分析	()		
	第6回	木工(仮組み立て-	→きりもみ→釘打ち	5)	第21回	陶芸(道具·材料·	·工程)		
	第7回	木工(仕上げ)			第22回	陶芸(練り、造りと	<運動学的分析)		
授業計画	第8回	木工(作業分析)			第23回	まとめ及び道具及	及び材料管理と環境整	逢備	
	第9回	編み物(道具・材料	・・工程・作成、作り	目について)	本講義では、事情 が完成しない場合	事前・事後学習について 本講義では、事前事後学習は設定しないが、指定された講義時間内で が完成しない場合は、工程の工夫について担当教員のアドバイスを受け			
	第10回	編み物(棒編みの	基本と運動学的分析	折)	ら、時間外で作品 講義内で使用する		大学が用意するが、木	棒針や毛糸など個	
	第11回	編み物(メリヤス編	高み)				ついては、学生に用意い、かつ自分の趣味に		
	第12回	編み物(ガーター編	扁み)						
	第13回	編み物(特殊な編み	み方・目の止め方)						
	第14回	編み物(作業分析))						
	第15回	革細工(道具·材料							
成績	成績評定は、指定	された提出物60%	、期末課題40%(ノ	ノート30、作品完成	(10)で評定する。				
評価方法	ただし、受験資格を	を満たしていない場		-			ICDN	¬	
教科書	作業学 ゴールド	マスターシリーズ 改		者(出版社) 言 編集(メジカルヒ	[二一社]			コード 33-2042-9	
参考書		ュアル 第2版・古川 1応用 改訂第2版・E			社)			3-26580-2 39-2107-9	
	実習時間内に作品が完成しなかった場合は、空き時間を利用して完成させてください。実習室の使用に関しては安全管理を徹底してください。またアクティビティ内容は、変更する場合があります。								
教員からの メッセージ	オフィスアワーを参考に研究室まで来てください。								
	オフィスアワーを	参考に研究室まで来	こてください。						

科目コード	R7006	授業科目名			生活支持	爰計画論		
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者				髙島	計 千敬	1	1	-
授業の概要		ように支援するのか こでは、アセスメントと			:目標とする。支援の7 を学ぶ。	ためには、面接や権	見察が必要であり、さ	らにマネジメント
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観をも	5心と豊かな人間性を □識・技術を基盤にしか 5ち、自己を変革しつ 社会と協働し、人々の	た総合的臨床能力を づける能力を身にこ	つける	1左阜につける			0 0
					付けるべき資質・能力]		0
到達目標		ヾから具体的な支援計 ハにマネジメントの視,						
履修上の 注意事項	配布資料を中心	に講義する。グループ	プワークも行うので	積極的に意見を述	<u>ì</u> べるようにすること。	。また、定期的に小	テストを行い知識を	確認する。
	回数			講義内容			事前・	事後学修
	第1回	生活行為を診ると	は				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第2回	MTDLPの概要					講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第3回	MTDLPの実際					講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第4回	COPM、サブシート						解を深める(60分)
	第5回	事例供覧1						解を深める(60分)
	第6回	事例供覧2					講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第7回	演習1		講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)			
授業計画	第8回	演習2					講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第9回	演習3					講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第10回	演習4					講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第11回	演習5					講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第12回	マネジメントシートケ	作成1				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第13回	マネジメントシート	作成2				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第14回	AMPS					講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第15回	事例検討	100()				講義内容の復習を行い、理	2解を深める(60分)
成績 評価方法	 課題(30%)、試影	倹(60%)、レポート(10%)					
	ただし、受験資格を	を満たしていない場合		ンない。 皆 (出版社)			ISR	Nコード
教科書	使用しない		EU E	3 (11/11/11/11/			1351	4 — 1
	サイン サイン トフラ	ベジメント 改訂第3版	5 (口卡佐娄梅汁+	一切へ)				
参考書	土冶1] 楊門工 4 个	・シスプト 以引 第3版	X (口平1F未保広」	- 协云 /				
教員からの メッセージ	対象者の生活を	捉える視点を養える	ように、まずは自身	が1日に行う生活	行為について、分析し	てみるとよいでし	んう。	
教員との 連絡方法		在室しているときに「 D1研究室 takashii		能ですが、メール等	「で予約をしておいた	方が確実です。		
実務経験の ある教員	病院での実務経	験を活かし、作業療法	去評価の目的や具体	≰的な方法についる	て教育する。			

科目コード	R7007	授業科目名			作業療法	法倫理学		
履修区分	必修	開講期	3年	後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者		++ <i>/-</i> **=`+ \.	. 一一 本 -孙. /二		はなみ		~#\m->	
授業の概要	医療征事者としく	、また作業療法工と	して、常に意識し行	動しなければなら	ない倫理的態度の基本	ト的な視点につい	(子省りる。	
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	を身につける					_
DPとの関連		識・技術を基盤にした ち、自己を変革しつ						∆ ⊚
りで列走	④地域社会·国際	社会と協働し、人々の	の健康生活のニース	ぐに対応できる能力				_
		・ポリシー(卒業認定 ノフォームド・コンセン			付けるべき資質・能力]		
到達目標	2. 専門職である作	F業療法士の職業規 対し皆が納得できるf	範について説明で:	きる	న			
履修上の 注意事項		故等の新聞記事、話 は積極的に参加する		・の場面での医療・伯	保健・福祉従事者の対	応を自分なりに考	誘察する習慣をつけ [、]	ておく。グループ討
	回数			講義内容			事前・	事後学修
	第1回	保健·医療従事者の	の倫理とは何か				保健・医療従事者の倫理に る(60分)	こついて自分の考えをまとめ
	第2回	倫理4原則につい	7				倫理4原則について自分の	の考えをまとめる(60分)
	第3回	インフォームド・コン	ンセントについて				インフォームド・コンセント	について復習する(60分)
	第4回	専門家としての責	専門家としての責務と義める(60分)	客について自分の考えをまと				
	第5回	作業療法士の倫理	綱領(倫理規定)・耶	戦業倫理指針(ガイ	ドライン)について		作業療法士の倫理につい 分)	て自分の考えをまとめる(60
	第6回	事例検討 グルー	-プ討議・発表				事前に提示された事例に (60分)	ついて自分の考えをまとめる
	第7回	事例検討 グルー	-プ討議・発表				事前に提示された事例に (60分)	ついて自分の考えをまとめる
授業計画	第8回	まとめ					作業療法士の倫理につい をまとめる(60分)	て講義を終えての自分の考え
	第9回							
	第10回							
	第11回							
	第12回							
	第13回							
	第14回							
	第15回							
成績 評価方法	レポート100%							
ПШЛЛД	ただし、受験資格を	を満たしていない場		<u> </u>			100	N = 18
かわ 争	使用しない		書名·著	者(出版社)			ISB	Nコード
教科書								
		の倫理テキスト・高橋						5003-374-3
参考書		術ガイド 第3版・石 リテーション臨床倫)			306-4374-3 63266687
教員からの メッセージ		、毎回の小テストにし						
教員との 連絡方法	kawabata@hci	u.ac.jpにまず連絡	をください。					
実務経験のある教員	病院や施設での作	業療法士としての臨	塩床経験を活かし、	医療の現場での倫理	理について概説する			

科目コード	R7008	授業科目名			作業療法	法管理学	_	
履修区分	必修	開講期	4年	後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者					島 千敬			
授業の概要	に関する基礎知識		教授する。加えて		運営について、また、訂 ンに関係する法律や診			
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	身につける					-
DD との関連		識・技術を基盤にした ち、自己を変革しつ						0
DPとの関連		社会と協働し、人々の]を身につける			0
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	付けるべき資質・能力]		
到達目標	2. 障害者のライス	場におけるマネジメ: フステージに応じた いて、リハビリテーシ	制度活用について	、年齢区分に基づき	説明ができる。 ビスを2つあげ、その	内容を説明するこ	ことができる。	
履修上の 注意事項	配布資料を中心	に講義を行う。講義の	中のスマートフォン	/の使用は禁止、私	語も慎むこと。			
	回数			講義内容			事前・	事後学修
	第1回	組織の成り立ちと	マネジメント				講義内容の復習を行い、	里解を深める(60分)
	第2回	社会保障とリハビリ	ノテーション				講義内容の復習を行い、	理解を深める(60分)
	第3回	医療保険とリハビリ	Jテーション				講義内容の復習を行い、	里解を深める(60分)
	第4回	介護保険とリハビリ	Jテーション				講義内容の復習を行い、	理解を深める(60分)
	第5回	障害福祉サービス。	とリハビリテーショ	ョン			講義内容の復習を行い、	里解を深める(60分)
	第6回	第6回 指導·監査、記録·関係帳簿						理解を深める(60分)
Jes 114 - 1	第7回	作業療法臨床実習	習の理解と管理体制				講義内容の復習を行い、	理解を深める(60分)
授業計画	第8回	まとめ					講義内容の復習を行い、	理解を深める(60分)
	第9回							
	第10回							
	第11回							
	第12回							
	第13回							
	第14回							
	第15回							
成績 評価方法	期末試験100%							
п шилла	ただし、受験資格を	を満たしていない場		-				
#1√1 =	なし		書名·者·	者(出版社)			ISB	Nコード
教科書								
参考書		門・大庭潤平・他区 J事故における注意		まて、炉芝(茶口木)	E±B1			63265680 382-7579-9
多 万亩	入門リハビリテー	ション概論 第7版図	₽村隆一·編Œ歯	薬出版)			978-4-2	63-21326-1
教員からの メッセージ	│ 医療・保健・福祉・ │ │	領域の療法士の仕事	は、諸法に基づい	て行われています。	。それぞれの領域で自	分が働く場合を~	(メージしながら講拿	配に臨んでください。
教員との 連絡方法		在室しているときに)1研究室 takashi		「能ですが、メール等	穿で予約をしておいた <u>。</u>	方が確実です。		
実務経験のある数員	病院での実務経	験を活かし、作業療法	去評価の目的や具	体的な方法につい	て教育する。			

科目コード	R7009	授業科目名			作業療法	去評価学			
履修区分	必修	開講期	1年	後期	授業回数	15回	単位数	1単位	
担当者					千敬	1			
授業の概要	設定や治療プログ	ブラムが立案できる。	療法評価の目的や	·評価の実際について			公評価を行うことで、。 国際生活機能分類)に。		
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観をも	ら心と豊かな人間性で 〕識・技術を基盤にし らち、自己を変革しつ 社会と協働し、人々の	た総合的臨床能力 づける能力を身に		を身につける			— © Д	
到達目標	・作業療法評価の ・作業療法評価の ・情報収集、面接・	対象と目的を説明で 方法をあげて説明で 観察、検査測定の目	きる きる 的および実施上 <i>0</i>	t)=卒業までに身に(D留意点を説明できる D概要および実施上の)				
履修上の 注意事項	教科書と配布資 講義中のスマー	料にて進める。 トフォンの使用は禁』	上、私語も慎むこと	- 0					
	回数			講義内容			事前·事	後学修	
	第1回	作業療法と評価①)				講義内容の復習を行い、理解	解を深める(60分)	
	第2回	作業療法と評価②)				講義内容の復習を行い、理解	解を深める(60分)	
	第3回	講義内容の復習を行い、理解	解を深める(60分)						
	第4回	講義内容の復習を行い、理解	解を深める(60分)						
	第5回	講義内容の復習を行い、理解	翠を深める(60分)						
	第6回	共通領域の評価法	- (3)				講義内容の復習を行い、理解	翠を深める(60分)	
	第7回	身体機能評価法①)				講義内容の復習を行い、理解	解を深める(60分)	
授業計画	第8回	身体機能評価法②					講義内容の復習を行い、理解を深める(60分)		
	第9回	高次脳機能評価法	₹				講義内容の復習を行い、理解	翠を深める(60分)	
	第10回	精神機能評価法					講義内容の復習を行い、理解	解を深める(60分)	
	第11回	発達過程評価法					講義内容の復習を行い、理解	解を深める(60分)	
	第12回	高齢期の機能評価	法				講義内容の復習を行い、理解	解を深める(60分)	
	第13回	就労の評価					講義内容の復習を行い、理解	解を深める(60分)	
	第14回	事例演習(検討)					講義内容の復習を行い、理解	解を深める(60分)	
	第15回	総括					事例を通じて評価結果から] プログラム立案について経	「CF分類を行い、目標設定 後する(60分)	
成績	筆記試験80% /	小テスト20%							
評価方法	ただし、受験資格	を満たしていない場		<u>-</u>			ICDN	¬	
教科書		: 第3版・ 脱 登真一、 神経の診かた 改訂1	他·編 (医学書院	•				コード 0030038 5247980	
	随時紹介	LATANDAM IC DXB1	○ NY CR4 HA 2XFI / [[,咖(竹田土)			770 432	3217700	
参考書	IVAN ARMAT								
教員からの メッセージ	復習を徹底して 強く学習していき		理解に努めましょ	う。定期的に小テスト	を実施して、理解の	程度を確認します	が、自ら学ぶ姿勢が最	も重要です。根気	
教員との 連絡方法		在室しているときに D1研究室 takashi		可能ですが、メール等)	で予約をしておいた	方が確実です。			
実務経験の ある教員	病院での実務経	験を活かし、作業療	法評価の目的や具	は体的な方法について	教育する。				

科目コード	R7010	授業科目名			身体機能	絶診学		
履修区分	必修	開講期	1年	後期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	W NV>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	11 144 0k - 10		敦史	- (0	****	
授業の概要	業では,代表的な		(見つけることを		から確認されるランドで の情報提供と,実技形だ			
	①平和を希求する	ふ心と豊かな人間性を	を身につける					0
DPとの関連		コ識・技術を基盤にした ち、自己を変革しつ						— ©
DI CONAL	④地域社会·国際	社会と協働し、人々の	の健康生活のニー	ズに対応できる能力				_
		・ボリシー(付けるべき資質・能力			
到達目標	2. ランドマークを	中心に, 骨各部位の	名称や解剖学的な	は特徴を述べること	ができる.			
履修上の 注意事項		で触診の練習をする。 管理,実習技と通学(者として,人の身体を 重要になります.	愛護的に取り扱う	ことを意識して取り	組んでください.
	回数			講義内容			事前・	事後学修
	第1回	オリエンテーション	,上肢の触診(1)	:肩甲骨の触診			実習技の準備、爪の適切な	管理. 触診法の復習
	第2回	上肢の触診(2):小	、 テスト, 鎖骨, 肩釘	鎖関節,胸鎖関節,_	上腕骨(大結節,小結節)	テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習
	第3回	上肢の触診(3):小	、テスト,上腕骨(約	詰節間溝,外側・内側	上顆,肘頭窩,尺骨神	経溝)	テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習
	第4回	上肢の触診(4):小	テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習				
	第5回	上肢の触診(5):小	マスト,尺骨(肘頭	頭,腕尺関節,尺骨頭	頁,遠位橈尺関節,茎状	突起)	テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習
	第6回	上肢の触診(6):小	ヽテスト,手根骨(豆	豆状骨,三角骨,舟物	(骨,月状骨)		テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習
1₩=1 	第7回	上肢の触診(7):小	トテスト, 手根骨(フ	大菱形骨,小菱形骨	有頭骨,有鉤骨)		テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習
授業計画	第8回	下肢の触診(1):小	テスト,骨盤(腸管	骨稜,上前腸骨棘,下	前腸骨棘,上後腸骨棘	(i)	テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習
	第9回	下肢の触診(2):小	、テスト,骨盤(坐 管	骨結節),大腿骨(大	転子,大腿骨頭)		テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習
	第10回	下肢の触診(3):小	・テスト,膝関節周	辺(膝蓋骨,内側・タ	側顆,脛骨内側・外側	顆)	テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習
	第11回	下肢の触診(4):小	ヽテスト,膝関節周	辺(大腿骨内側・外	則上顆,頸骨粗面,腓骨]頭)	テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習
	第12回	下肢の触診(5):小	、テスト,足関節及	び足部周辺(内・外	果,距腿関節,踵骨,舟	状骨)	テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習
	第13回			連する諸組織(乳様 , 上項線, 下項線,			テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習
	第14回	体幹の触診(2):小	トテスト,脊柱に関	連する諸組織(腰椎	棘突起,胸椎棘突起)		テキストで扱った箇所およ	び触診技術の復習
	第15回	触診技術のポイント	►整理:小テスト,	実技テストで必要と	なる手順, ポイントを伝	達	触診の実技練習の計画を	立て,実行する.
成績	小テスト(10%)á	合計点の得点率を持	採用,実技テスト(40%), 期末テスト	(筆記)(50%)を合計	して評定します.		
評価方法	ただし、受験資格	を満たしていない場		<u> </u>				
おいま	運動療法のための)機能解剖学的触診技		者(出版社) 第2版材 典雄》株)メジカルビュー社			Nコード 583-1136-6
教科書	運動療法のための)機能解剖学的触診技	支術 下肢·体幹	改訂 第2版 林 勇	は極(株)メジカルビュ−	一社	978-4-75	83-1137-3
参考書								
教員からの メッセージ	初回を除き,2回 しますので,メモヤ	目以降は,講義開始や や教科書へ書き込み,	寺に小テスト(10分 ノートにまとめる	分間程度)を実施しる など毎日の学習習	ます. テストの内容は前 慣をつけましょう.	の講義内容から	 出題します. 出題内容	ドは授業時に明確
教員との 連絡方法		室しているときは原見 室212 メール:iwar			cu.ac.jpまで申し出て	ください.		
実務経験のある教員					, 知見を交えた講義を 験をふまえ、知見を交		ます。	

科目コード	R7011	授業科目名			身体機能評	価学演習 I					
履修区分	必修	開講期	2年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位			
担当者	て学ぶ。また、身体	ラム立案のための、ま 本機能の正確な技能を 技機能評価等についる	を習得するととも	果判定となる一般的 に人の活動を身体機	<mark>・ 千敬</mark> 対な身体機能評価にお 機能面から動作分析的	がける検査法の目的 かける検査法の目的 がある。	的、手技、判断基準、1 5養う。具体的には、	解釈の仕方につい 形態測定、知覚検			
DPとの関連 到達目標	②修得した専門知 ③高い倫理観をも ④地域社会・国際 ※DP:ディブロマ 1. 身体機能の基 2. 身体機能の基 3.上肢機能評価 4.上肢機能評価	5心と豊かな人間性を 可識・技術を基盤にした 5ち、自己を変革しつ 社会と協働し、人々の ・ポリシー(卒業認定 本的評価法の言義と 本的評価法の手技が の意義と代表的な検査につい よび運動学実習の復	た総合的臨床能力 では一般では一点では の健康生活のニー・学位授与の方針 実施上の留意点で できるできる を をしていて実施上 いて基本的な手技	つける ズに対応できる能力) = 卒業までに身に を説明できる。 の留意点を説明で が実施できる。	付けるべき資質・能力		テストを行う。	— © O			
履修上の 注意事項											
	回数			講義内容			事前·	事後学修			
	第1回	身体障害領域にお	ける初回面接				講義内容の復習を行い、理				
	第2回 第3回	反射検査 					講義内容の復習を行い、理				
	第4回	痛みの評価					講義内容の復習を行い、理				
	第5回	形態測定検査		講義内容の復習を行い、理	2解を深める(60分)						
	第6回	協調性検査	講義内容の復習を行い、理	門解を深める(60分)							
授業計画	第7回	感覚検査					講義内容の復習を行い、理	1解を深める(60分)			
	第8回	姿勢バランス 	フわフィンル1				講義内容の復習を行い、理				
	第9回 第10回	胸部のフィジカルア					講義内容の復習を行い、理				
	第11回	胸部のフィジカルア					講義内容の復習を行い、理	理解を深める(60分)			
	第12回	上肢機能検査					講義内容の復習を行い、理	開を深める(60分)			
	第13回	簡易上肢機能検査	(STEF)				講義内容の復習を行い、理	1解を深める(60分)			
	第14回	日常生活活動の評	価				講義内容の復習を行い、理	1解を深める(60分)			
	第15回	手段的日常生活活	動の評価				講義内容の復習を行い、理	11解を深める(60分)			
成績 評価方法		を満たしていない場合	合は評価の対象と	しない。							
教科書		- 第3版・配登真一、伯 神経の診かた 改訂18	他·編 (医学書院				978-426	Nコード 50030038 25247980			
参考書	随時紹介										
教員からの メッセージ	講義時間以外でも友人通しで練習するなど、実技の修得に努めること。										
教員との 連絡方法		以下の研究室に在室しているときには基本的に対応可能ですが、メール等で予約をしておいた方が確実です。 髙島 千敬:301研究室 takashima@hcu.ac.jp									
実務経験の ある教員	病院での実務経	験を活かし、作業療法	去評価の目的や具	体的な方法につい ⁻	て教育する。						

科目コード	R7012	授業科目名			身体機能評	価学演習Ⅱ	_	
履修区分	必修	開講期	2年	後期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者 授業の概要	て学ぶ。また、身体				<mark>号 千敬</mark> かな身体機能評価にお 機能面から動作分析的			
DPとの関連 到達目標 履修上の 注意事項	②修得した専門知 ③高い倫理観をも ④地域社会・国際科 ※DP:ディブロマ 1. 関節可動域測 2. 関節可動域測 3. 徒手筋力検査 4. 徒手筋力検査 解剖学・運動学お。	定の意義と実施上の 定の基本的な手技力 の意義と実施上の留 の基本的な手技が実 よび運動学実習の復	た総合的臨床能力さ づける能力を身に の健康生活のニース・学位授与の方針) 留意点を説明でき 実践できる。 電意点を説明できる 震流を説明できる 震流を説明できる 震流を説明できる	つける (に対応できる能力 = 卒業までに身に る。 。 動、計測におけるラ	Jを身につける 付けるべき資質・能力 ウンドマークとなる骨指 期的に小テストを行う	「標、骨格筋の起始	台停止・作用を再確認	ー ② 〇 〇
727.51 71	回数			 講義内容			重前•3	事後学修
	第1回	関節可動域測定法	演習1	D-C 138440			講義内容の復習を行い、理	
	第2回	関節可動域測定法	演習2				講義内容の復習を行い、理	
	第3回	関節可動域測定法	演習3				講義内容の復習を行い、理	:解を深める(60分)
	第4回							理解を深める(60分)
	第5回	関節可動域測定法	演習5				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第6回	関節可動域測定法	演習6				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
授業計画	第7回	関節可動域測定法	演習7				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
汉朱山四	第8回	徒手筋力検査法	演習1				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第9回	徒手筋力検査法	演習2				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第10回	徒手筋力検査法	演習3				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第11回	徒手筋力検査法	演習4				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第12回	徒手筋力検査法	演習5				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第13回	徒手筋力検査法	演習6				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第14回	徒手筋力検査法	演習7				講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
	第15回	徒手筋力検査法					講義内容の復習を行い、理	解を深める(60分)
成績 評価方法		を満たしていない場		<i>†</i> N)				
			書名·著	者(出版社)			ISBI	Nコード
教科書		去 第10版·Helen 第3版·能登真一、他		協同医書出版社)				539-0041-8 50030038
参考書	随時紹介							
教員からの メッセージ	講義時間以外で	も友人通しで練習す	るなど、実技の修復	景に努めること。				
教員との 連絡方法		在室しているときに 11研究室 takashi		能ですが、メール等	うで予約をしておいた	方が確実です。		
実務経験のある教員	病院での実務経験	験を活かし、作業療法	去評価の目的や具体	本的な方法につい ⁻	て教育する。			

科目コード	R7013	授業科目名			発達過程語	平価学演習		
履修区分	必修	開講期	2年	後期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者				平	尾 文			
授業の概要					定し、そのために必要 をしておいてください		事例を通して学びます	Г.
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観をも ④地域社会・国際	ら心と豊かな人間性を 1識・技術を基盤にし らち、自己を変革しつ 社会と協働し、人々の ・ポリシー(卒業認定	た総合的臨床能力を づける能力を身につ の健康生活のニーズ	- つける に対応できる能力	を身につける]		О О О Д
到達目標					とができるようになる 例を3つ挙げること		3	
履修上の 注意事項	・配布資料は大事	を守ってください に保管してください 切な場合は、厳重注)		ます				
	回数			講義内容			事前·	事後学修
	第1回	オリエンテーション	・・子どもの評価とは	何かについて学ぶ			子どもの評価についてイメ	ージしておく(60分)。
	第2回	子どもの評価につ	いて①:作業療法実	施後の変化を視覚	的に評価する・体感で	する	授業で体感したことを復習	する(60分)。
	第3回	子どもの評価につ	いて②:自閉症を持	つ子どもの場合に	ついて		自閉症を持つ子どもの評価 (60分)。	面についてイメージしておく
	第4回	子どもの評価につ	いて③:ADHD·発	達障害を持つ子ど	もの場合について		ADHD・発達障害を持つ子 ジしておく(60分)。	どもの評価についてイメー
	第5回	自分の評価につい	て:外遊びによる自	身の変化を評価す	'ব		外遊びによる自身の変化を 分)。	
	第6回	脳性麻痺の評価に	ついて①:痙直型脳	性麻痺の場合			脳性麻痺(痙直型)を持つジしておく(60分)。	子どもの評価についてイメー
	第7回	脳性麻痺の評価に	ついて②:アテトー1	ご型脳性麻痺の場	合		脳性麻痺(アテトーゼ型)を イメージしておく(60分)。	持つ子どもの評価について
授業計画	第8回	重症心身障害の評	価について①:事例	をもとに			重症心身障害を持つ子ども ておく(60分)。	らの評価についてイメージし
	第9回	重症心身障害の評	価について②:実技	の実施			重症心身障害を持つ子ども 習する(60分)。	らの評価についての実技を復
	第10回	知的障害・ダウン症	Eの評価について:事	፮例をもとに			知的障害・ダウン症を持つ・ ジしておく(60分)。	子どもの評価についてイメー
	第11回	筋ジストロフィー症	Eの評価について:事	郵例をもとに			筋ジストロフィー症を持つ・ ジしておく(60分)。	子どもの評価についてイメー
	第12回	二分脊椎の評価に	ついて:事例をもと	IC .			二分脊椎を持つ子どもの割く(60分)。	平価についてイメージしてお
	第13回	分娩麻痺の評価に	ついて:事例をもと	IC .			分娩麻痺を持つ子どもの言 <(60分)。	平価についてイメージしてお
	第14回	骨形成不全症の評	価について:事例を	もとに			骨形成不全を持つ子どもの おく(60分)。)評価についてイメージして
	第15回	第1回~14回まで	のダイジェストのま	とめ			各評価についての対象や特分)。	特徴について復習をする(60
成績 評価方法		・提出物(40%)にて						
	ただし、受験資格を	を満たしていない場		ンない。 * (出版社)			I ISBN	Nコード
教科書	イラストでわかる発	発達障害の作業療法						3-21717-7
参考書								
教員からの メッセージ	授業はアクション・	・リアクションによるこ	コミュニケーションで	で成り立ちます。積	極的に楽しみながら	受講してください。		
教員との 連絡方法	パソコンのアドレス	スまでメールを送って	てください。aya.72	2710@hcu.ac.j	p			
実務経験の ある教員		法士として、15年間ながら学ぶことができ		験を持つ。その間に	こ担当した子どもは終	り600人。こちらの	D経験を基に障害を	寺つ子どもの評価

科目コード	R7014	授業科目名			精神·認知機能	能評価学演習				
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位		
担当者				川畑	なみ					
授業の概要	精神・認知機能の	評価の概要と目的を	理解する。評価の	方法を体得する。						
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観をも ④地域社会・国際	が心と豊かな人間性を 識・技術を基盤にした うち、自己を変革しつ 社会と協働し、人々の ・ボリシー(卒業認定	た総合的臨床能力 づける能力を身に D健康生活のニー	- こつける ズに対応できる能力	を身につける			— © — —		
到達目標	精神・認知機能評 留意点を踏まえて	価の手段と目的、その情報取集・観察・面接いて評価から得られ	の種類と内容・方法 後を実践する。	法を説明することが で		<u> </u>				
履修上の 注意事項					帯電話・スマートフォン コピー等をしてくださ		書された内容を記録	することも禁止し		
	回数			講義内容			事前·事	章後学修		
	第1回	オリエンテーション	、精神・認知機能の	の評価とは 評価の基	基本:情報収集		情報収集について復習する	(60分)		
	第2回	評価の基本:観察の	D				観察の形態について復習す	る(60分)		
	第3回	評価の基本:観察②		観察の技法について復習す	る(60分)					
	第4回	評価の基本:面接の	インテーク面接について復習する(60分)							
	第5回	評価の基本:面接の	2)				作業面接について復習する	(60分)		
	第6回	評価の基本:回復物	犬態の評価指標				ISDA、SNSFについて復習	する(60分)		
	第7回	評価の基本:検査・	チェックリスト				臨床でよく用いられる検査	こついて復習する(60分		
授業計画	第8回	ロールプレイ:コミ:	ュニケーション力を	を育もう、臨床で役立	こつコミュニケーション	ノスキル	ミュニケーションスキルについて復習する(60			
	第9回	ロールプレイ:面接	練習				面接練習での気づきをまと	める(60分)		
	第10回	ケーススタディ①					ケースの評価場面での情報	をまとめる(60分)		
	第11回	ケーススタディ②					ケースの評価場面での情報	をまとめる(60分)		
	第12回	ケーススタディ③					ケースの評価場面での情報	をまとめる(60分)		
	第13回	ケーススタディ④					ケースの評価場面での情報	をまとめる(60分)		
	第14回	ケーススタディ⑤					ケースの評価場面での情報	をまとめる(60分)		
	第15回	科目のまとめ					授業で説明のあった期末試 る(60分)	験対策のポイントをまと		
成績 評価方法	期末試験90%, /	トテスト10% を満たしていない場	今け証価の対象と	1 #8LV						
			書名·著	者(出版社)				コード		
教科書	生活を支援する精	に精神科作業療法 第 計神障害作業療法 第 第25年 岩崎ラルス	32版 香山明美・小				978-4-26	58-5980-3 3-21933-1		
参考書	精神障害と作業療	第3版・岩崎テル子 法 新版・山根 寛 レ基礎評価学・塩見泰	(三輪書店)	(羊土社)			978-4-89	0-03003-8 590-583-1 81-0793-8		
教員からの					って授業に臨んでく	ださい。	1.5.7.75			
メッセージ 教員との 連絡方法	kawabata@hc	u.ac.jpにまず連絡 [、]	をください。							
連絡方法)実務経験を伴う作業								
実務経験の ある教員		がいて情報取集・観								

科目コード	R7015	授業科目名			日常生活	援助学			
履修区分	必修	開講期	2年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位	
担当者					・岩本優士				
授業の概要	リハビリテーショる主な疾患の活動	ンの具体的な目標とし動制限や参加制約につ	して挙げられること ついて理解し、評価	との多いActivitie IIや支援を行うため	s of Daily Living(<i>k</i> D視点を養う。	ADL:日常生活流	5動)について学ぶ。作	≆業療法の対象と を	
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観を・ ④地域社会・国際	る心と豊かな人間性を 口識・技術を基盤にした もち、自己を変革しつ は社会と協働し、人々の	た総合的臨床能力 づける能力を身に D健康生活のニー	- こつける ズに対応できる能力	を身につける			— © — Д	
到達目標	ADLの概念につ ADLの評価につ	いて説明できる。							
履修上の 注意事項					こ場合は評価の対象に の配布はしませんので				
	回数			講義内容			事前·哥	事後学修	
	第1回	オリエンテーション	、日常生活活動の	概念と範囲			日常生活活動の概念と範囲	まについて復習する(60分	
	第2回	ADL評価①	各種ADL評価について復	習する(60分)					
	第3回	ADL評価②	BI,FIMについて復習する	(60分)					
	第4回	自助具:自助具の種	自助具について復習する(60分)						
	第5回	疾患別ADL: 片麻紅		片麻痺のADLの概要、指導 (60分)	の注意について復習する				
	第6回	疾患別ADL: 片麻紅	専(整容、更衣)				片麻痺のADL(整容、更衣)	について復習する(60分)	
	第7回	疾患別ADL: 片麻紅	車(起居、移乗、移	動)			片麻痺のADL(起居、移乗、 (60分)	移動)について復習する	
授業計画	第8回	疾患別ADL: 片麻紅	車(排泄、入浴)				片麻痺のADL(排泄、入浴)	について復習する(60分)	
	第9回	疾患別ADL:脊髄技	員傷(障害の概要、	評価、基本練習)			脊髄損傷の基本評価、基本練習について復習する分)		
	第10回	疾患別ADL:脊髓技	損傷(ADLの実際)			脊髄損傷の損傷行為別のA 分)	DLについて復習する(60	
	第11回	疾患別ADL:関節「	ノウマチ				関節リウマチのADL(関節を習する(60分)	呆護の視点から)について	
	第12回	疾患別ADL:筋委約	縮性疾患(筋萎縮)	生側索硬化症)			片麻痺のADL(排泄、入浴)	について復習する(60分)	
	第13回	疾患別ADL:呼吸	器疾患				片麻痺のADL(排泄、入浴)	について復習する(60分	
	第14回	疾患別ADL:高次服	凶機能障害				片麻痺のADL(排泄、入浴)	について復習する(60分	
	第15回	まとめ					授業で説明のあった期末試 る(60分)	は験対策のポイントをまとめ	
成績	期末試験90%,	小テスト10%					'		
評価方法	ただし、受験資格	を満たしていない場	合は評価の対象と	こしない。					
教科書	新版 日常生活活	動(ADL) 第2版 評值		者(出版社) 編集:伊藤 利之 他	(医歯薬出版株式会社)		1⊐ード 3-26606-9	
	PT·OTビジュア	ルテキスト ADL・柴	喜崇 他 編(羊	土社)			978-4-75	81-0795-2	
参考書	復羽た羽煙ル ロー	て、毎回の小テストにし	.つかいと聞い! kg /						
教員からの メッセージ				U C \/CC V16					
教員との 連絡方法	kawabata@ho	cu.ac.jpにまず連絡	をください。						
実務経験の ある教員									
1//25									

科目コード	R7016	授業科目名			日常生活扬			
履修区分	必修	開講期	2年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者				川畑 なみ	・岩本 優士			
授業の概要		ンの具体的な目標と1徴や基本的な介助が			s of Daily Living(ADL:日常生活浸	〔動)について学ぶ。 貝	体的な体験を通し
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観をも ④地域社会・国際	心と豊かな人間性を 識・技術を基盤にし ち、自己を変革しつ 社会と協働し、人々の ・ポリシー(卒業認定	た総合的臨床能力 づける能力を身に D健康生活のニース	- つける ズに対応できる能力	を身につける			— © — Δ
到達目標	·基本動作やADL ·基本動作やADL	助具の名称、種類・使 動作に含まれる動き 動作の基本的な介 <i>入</i> 通して感じたことを言	について実演でき 、方法を2つ以上挙	₹る。 ⁵げることができる。				
履修上の 注意事項	など、積極的な参		常した場合も課題 扱	是出が必須となりま]士で協力したり意見 取ってください。ただ	
	回数			講義内容			事前·哥	事後学修
	第1回	オリエンテーション	′、杖·歩行器:杖·歩	行器の種類、名称、	使用方法、杖歩行		杖・歩行器の種類、名称、杖 分)	歩行について復習する(60
	第2回	車椅子:車椅子の積	車椅子の種類、名称につい を書く(60分)	て復習する、介助体験の感想				
	第3回	基本動作の捉え方	自身の寝返りを分析する(6	60分)				
	第4回	第4回 基本動作①-2:寝返り(介助と介入)						
	第5回	基本動作②-1:起	き上がり(動作分析	j)			自身の起き上がりを分析す	でる(60分)
	第6回	基本動作②-2:起	き上がり(介助と介	入)			起き上がりの介助方法につ	いて復習する(60分)
	第7回	基本動作③-1:立	ち上がり(動作分析	r)			自身の立ち上がりを分析す	る(60分)
授業計画	第8回	基本動作③-2:立	ち上がり(介助と介	入)			立ち上がりの介助方法につ	いて復習する(60分)
	第9回	基本動作④:床上重	助作(動作分析、介)	助と介入)			いざり移動の介助方法につ	いて復習する(60分)
	第10回	基本動作⑤-1:移動	乗動作(ベッド↔車	椅子)(動作分析、介	`入)		脊髄損傷の損傷行為別のA 分)	DLについて復習する(60
	第11回	基本動作⑤-2:移	乗動作(ベッド↔車	椅子)(介助)			関節リウマチのADL(関節と習する(60分)	呆護の視点から)について復
	第12回	ケーススタディ①					ケースのADLの評価結果を	まとめる(60分)
	第13回	ケーススタディ②					ケースのADLの評価結果だる(60分)	から介入のポイントを見つけ
	第14回	ケーススタディ③					ケースのADL介入計画をご	エてる(60分)
	第15回	まとめ					授業で説明のあった期末記る(60分)	験対策のポイントをまとめ
成績		果題提出および発表だ 提出された課題は記			5 .			
評価方法	ただし、受験資格を	を満たしていない場					Too.	1= 12
教科書	新版 日常生活活動	動(ADL) 第2版 評(者(出版社) 編集:伊藤 利之 他	(医歯薬出版株式会社	()		1⊐ード 3-26606-9
参考書		F業療法・藤井 浩美 ン・ADLトレーニング			(会社)			81-0795-2 3-21576-0
教員からの メッセージ	動作分析などの説してください。	思は必ず期限までは	こ取り組み、提出す	ることを心がけて<	ださい。また介助や	介入の演習では乳		うに丁寧な対応を
教員との連絡方法	kawabata@hc	u.ac.jpにまず連絡	をください。					
実務経験の								
ある教員								

科目コード	R7017	授業科目名		身	身体機能作業療法学Ⅰ(中枢神経障害)								
履修区分	必修	開講期	2年	前期	授業回数	8回	単位数	1単位					
担当者				山川 敦史	・岩本 優士								
授業の概要	脳血管障害(脳梗) 学的知識をはじめ	塞、脳出血等)、頭部)、特徴的な心身機能	『外傷、脊髄損傷、/ 能・身体構造障害と	パーキンソン病、多乳	る活動制限、参加制約	変性症、筋萎縮性	います。 注側索硬化症、これらの だついて教授します。!						
		かと豊かな人間性		た良につけて				0					
DPとの関連		l識・技術を基盤にし らち、自己を変革して						 ©					
				ズに対応できる能力	」を身につける 付けるべき資質・能力			_					
到達目標	1. 代表的な中枢や 2. 中枢神経疾患	神経疾患および障害 および障害の特徴に	の種類を挙げるこ こついて、解剖学、生	とができる	明することができる	J							
履修上の 注意事項	臨床医学である神 るよう、留意して<		がきわめて多い科	目です。中枢神経系	の解剖学、生理学も同	同時に確認しなが	ら進めます。それらをい	ハつでも確認で					
	回数			講義内容			事前·事	後学修					
	第1回	オリエンテーション	中枢神経系の解剖学、生理学 授業中にメモしたことをまと										
	第2回	脳血管障害(2):/	トテスト、特徴的な	症状および障害と対	応する評価		授業内容の復習と配布資料	を事前に読んでおくこと					
	第3回	授業内容の復習と配布資料	を事前に読んでおくこと										
	第4回	脳血管障害(4):/	授業内容の復習と配布資料	を事前に読んでおくこと									
	第5回	頭部外傷(1):小克	テスト、定義、疫学、	分類			授業内容の復習と配布資料	を事前に読んでおくこと					
	第6回	頭部外傷(2):小	テスト、代表的な障	害像と評価、介入方	法		授業内容の復習と配布資料	を事前に読んでおくこと					
	第7回	脊髄損傷(1):小売	テスト、定義、疫学、	分類について			授業内容の復習と配布資料	を事前に読んでおくこと					
授業計画	第8回	脊髄損傷(2):残	存髄節レベルと可能	じな動作・ADL(1)			授業内容の復習と配布資料	を事前に読んでおくこと					
	第9回	脊髄損傷(3):残	存髄節レベルと可能	能な動作・ADL(2)			授業内容の復習と配布資料を事前に読んでおり						
	第10回	パーキンソン病(1	l):定義、疫学、分类	Į.			授業内容の復習と配布資料	を事前に読んでおくこと					
	第11回	パーキンソン病(2	2):重症度別のAD	L、介入方法			授業内容の復習と配布資料	を事前に読んでおくこ。					
	第12回	脊髄小脳変性症:	定義、分類、失調症	状とその対処			授業内容の復習と配布資料	を事前に読んでおくこと					
	第13回	多発性硬化症:定	義、分類、障害像と	その対処			授業内容の復習と配布資料	を事前に読んでおくこと					
	第14回	筋萎縮性側索硬化	比症:定義、分類、障 ————————————————————————————————————	害像とその対処			授業内容の復習と配布資料	を事前に読んでおくこと					
	第15回	中枢神経疾患·障	害の理解のために	:小テスト、自己学習	ポイントの伝達、質疑	Ž	疑問点を挙げておくこと.						
成績	小テスト(10%)、	期末試験(90%)											
評価方法	ただし、受験資格を	を満たしていない場		(しない。 (者(出版社)			ISBN	コード					
教科書	資料を配布します		811 1	Та (шлктал			13514	- 1					
		学 第4版図口 昇)-04682-4					
45		ルド・マスター・テキ 評門基礎分野 神経[内科学[編]川平 利	□美⊠医学書院	重信 メジカルビュ-		978-4-260						
参考書	惊华作来撩法子号				t.確認でキストシにL	ましょう。小テス	トで分からなかったと	- スたそのまま					
参考書 教員からの メッセージ	神経解剖学、神経	生理学、神経内科学 に調べて補うように		教科書類をいうで	ひをから いっぱん りんし	,0,00,00,00	11 ()3/3 3 0/3 2/22	_'J& (W&&					
教員からの	神経解剖学、神経しないで、積極的に各研究室に在室し	こ調べて補うように	してください。 受け付けます。事前										

科目コード	R7018	授業科目名			精神機能化	作業療法学					
履修区分	必修	開講期	2年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位			
担当者		LG ty or TD/TD \ /L-W/s			なみ	7 ++ T++ 4 b c 240 1					
授業の概要	精神機能領域の対する。	対象者の理解と作業療	景法(7)基本的な考	え万や冶療構造、作	業療法の美践に関す	る基礎的な知識に	こついく埋解・説明ぐ	さることを目的と			
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	と身につける					_			
DPとの関連		コ識・技術を基盤にした ち、自己を変革しつ						© ∆			
DI COPALE	④地域社会·国際	社会と協働し、人々の	の健康生活のニー	ズに対応できる能力				Δ			
到達目標	精神保健医療福祉 精神障害、特に統	・ポリシー(卒業認定 止の流れ・歴史につい 合失調患者の特性を なの治療構造と回復期	て理解し、「社会的	り入院」について自身 イメージができるよ	rの考えを述べること うになる。		₹る。				
履修上の 注意事項	スマートフォンの	習課題または復習課 更用は禁止します。ま 失した場合は他の学	た、携帯電話・スマ	マートフォンの撮影機							
	回数			講義内容			事前・	事後学修			
	第1回	オリエンテーション	、精神保健医療福	祉の動向			精神保健医療福祉の流れ・ 自身の考えを配布プリント				
	第2回	早期退院・退院支援		精神科における作業療法は えを配布プリントにまとめ	この役割について、自身の る(60分)						
	第3回	その人らしい生活、		その人らしい生活について、自身の考えを配布 にまとめる(60分)							
	第4回 疾病とその回復過程						各回復期の役割について復習し、問題プ (60分)				
	第5回	急性期作業療法: 与	早期介入の考え方	、急性期の状態像の	理解		統合失調症亜急性期の状態 トにまとめる(60分)	態像とその特徴を配布プリ			
	第6回	急性期作業療法:急	急性期の作業療法	;基本的プログラム、	回復状態の指標		急性期作業療法の基本的な配布プリントにまとめる(6				
1-5 NV - 1	第7回	急性期作業療法の	考え方と実際:急	性期の心理教育、家	族支援、連携のポイン	ト	急性期作業療法について役(60分)	夏習し、問題プリントを解く			
授業計画	第8回	退院支援:回復期・	維持期の状態像、	基本的な考え方とア	プローチの留意点		回復期・維持期の状態像にる(60分)	ついて配布プリントにまと			
	第9回	退院支援: 退院促	進と退院支援の実	際			退院支援の基本的な考えが トを解く(60分)	たについて復習し、問題プリ			
	第10回	退院支援: 心神喪	失者等医療観察法	とその支援			心神喪失者等医療観察法に める(60分)	こついて配布プリントにまる			
	第11回	地域生活支援:地域	域生活支援の視点	、再発予防、ケアマネ	ジメント・連携		地域生活支援の視点、再発 まとめる(60分)	予防について配布プリン			
	第12回	地域生活支援:外来	と作業療法・デイケ	ア·訪問			外来作業療法・デイケア・訪 とめる(60分)	問について配布プリントに			
	第13回	地域生活支援:就党	労支援、福祉サーヒ	ごス・制度、家族支援	·当事者支援		就労支援について配布プリ	リントにまとめる(60分)			
	第14回	グループワーク:社	会的入院について	て(事前の動画学習を	(含む)		事前に指定の動画を学習し 分)	,、プリントを完成させる(€			
	第15回	作業療法のリスク	マネジメント、科目	のまとめ			作業療法のリスクマネジメ 分)	ントについて復習する(60			
成績評価方法		ト試験で6割超えてい (提出の有無、内容に									
р Г Ірцу Ј /Д	ただし、受験資格	を満たしていない場		しない。 渚(出版社)			ICDA	リ コード			
教科書	生活を支援する精	精神障害作業療法 第			歯薬出版株式会社)			53-21933-1			
参考書	***************************************	≤精神科作業療法 第 法学 第3版 小林夏子		・堀田英樹(中央	法規出版株式会社)			58-5980-3 0-03944-4			
教員からの メッセージ	課題の作成では、	指定された範囲をし	っかりと読み、要タ	点をまとめること。							
************************************	kawabata@hc	u.ac.jpにまず連絡・	をください。								
実務経験の		D実務経験を伴う作業 基づいて精神障害作業			践の流れについて示	ं च					

科目コード	R7019	授業科目名			身体機能作業	集療法学演習 I			
履修区分	必修	開講期	2年	後期	授業回数	15回	単位数	1単位	
担当者				山川 敦史	・岩本 優士				
授業の概要	基礎、専門実地問 2. 脳血管障害を	題を準備しますので	、グループ単位で 西技術(ブルンスト	演習形式で取り組み	、発表します。		試験の過去問題から 機能・身体構造障害		
		る心と豊かな人間性な						Δ	
DPとの関連		□識・技術を基盤にし ○ち、自己を変革しつ						— ©	
	④地域社会·国際	社会と協働し、人々の	の健康生活のニー	ズに対応できる能力				_	
到達目標	1. 代表的な中枢社 2. 脳血管障害な	神経障害および疾患 どの中枢神経障害の	について、国家試 動作の特徴を挙げ	・)=卒業までに身に 験過去問題を利用し ずることができる。 ミ演し、専門用語を使	、模範解答を行うこ				
履修上の 注意事項				ば験過去問題を用いた 害)の講義資料など、			なするために資料が必	要となります。	
	回数			講義内容			事前·事	¥後学修	
	第1回	オリエンテーション 片麻痺の擬似的体	実習着・もしくはジャージを 学習内容をまとめておくこ						
	第2回	知識確認(1):中枢 実技演習(1):脳血		神経内科学のテキストを用	ハ、事前学習しておく。				
	第3回	評価学の資料を用いて、事前学習しておく。							
	第4回	知識確認(3):脳核実技演習(3):肩甲	神経内科学、神経生理学を復習しておくこと。						
	第5回	知識確認(4):脳瓜実技演習(4):肘関		法〜過去問題の模範 のROM-ex	解答作成と発表		利用した問題を各自ノート	こまとめておく。	
	第6回	知識確認(5):脊髓実技演習(5):寝遊		頁〜神経内科学等を)	用いて知識整理		ノートを作成し、知識をまと 実技のポイントをメモしてま	めておく。 Sくこと。	
	第7回	知識確認(6):脊髓 実技演習(6):起き		ノートを作成し、知識をまと 実技のポイントをメモしてま	めておく。 Sくこと。				
授業計画	第8回	知識確認(7):脊髓実技練習(7):坐位		(1)〜過去問題の模質	節解答作成と発表		ノートを作成し、知識をまとめておく。 実技のポイントをメモしておくこと。		
	第9回	知識確認(8):脊髓 実技演習(8):歩行		(2)〜過去問題の模	節解答作成と発表		ノートを作成し、知識をまとめておく。 実技のポイントをメモしておくこと。		
	第10回	知識確認(9):頭音 実技演習(9):上版	部外傷の分類、障害 支への介入(書字重	言像と評価〜過去問題 加作)	題の模範解答作成と	発表	ノートを作成し、知識をまと 実技のポイントをメモしてま	めておく。 らくこと。	
	第11回	知識確認(10):頭 実技演習(10):上		生〜過去問題の模範 動作) 	解答作成と発表		ノートを作成し、知識をまと 実技のポイントをメモしてま	めておく。 らくこと。	
	第12回	知識確認(11):筋 実技演習(11):動		の作業療法〜過去間 が作	引題の模範解答作成	と発表	ノートを作成し、知識をまと 実技のポイントをメモしてま		
	第13回	知識確認(12):多 実技演習(12):動		養法〜過去問題の 動作	莫範解答作成と発表		ノートを作成し、知識をまと 実技のポイントをメモしてま		
	第14回	知識確認(13):パ 実技演習(13):動		業療法~過去問題 <i>0</i> 動作	模範解答作成と発	表	ノートを作成し、知識をまと 実技のポイントをメモしてま	めておく。 らくこと。	
	第15回	実技演習(14):動	作分析(4)~食事			表	ノートを作成し、知識をまと 実技のポイントをメモしてま		
成績 評価方法	期木試験(聿記) 	00% 各回 0用いた	三国 家試験過去問題	題を改変して出題しる	kg.				
<u>Д</u>	ただし、受験資格	を満たしていない場		こしない。 (者(出版社)			I ISBN	コード	
教科書	資料を配布します	-	百石石	14(山水江)			1301	→ 1.	
		法学 第4版図口 昇						0-04682-4	
参考書	標準作業療法学具	即基礎分野 神経内	内科学[8編]川平 利	□美図医学書院			978-4-75	83-2044-3	
教員からの メッセージ		生理学、神経内科学 に調べて補うように		教科書類をいつでも	確認できるようにし	しましょう。小テス	~で分からなかったと	ころをそのまま	
教員との 連絡方法	山川 敦史 研究	っているときは原則st 室308 メール:lily- 室212 メール:iwa	-drg@hcu.ac.jr		ください。				
実務経験のある教員				宝宅(訪問)の臨床経 よび地域での臨床経					

科目コード	R7020	授業科目名			精神機能作業	療法学演習 I			
履修区分	必修	開講期	2年	後期	授業回数	15回	単位数	1単位	
担当者					なみ	1	•	1	
授業の概要	精神医学的知識と	障害構造論に基づる	き,回復段階に応し	ジた精神障害に対す [。]	る作業療法の基本的	な治療理論につい	いて理解する。		
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観をも ④地域社会・国際		た総合的臨床能力 づける能力を身に の健康生活のニー	こつける ズに対応できる能力	を身につける			— © Д	
到達目標	主な対象となる疾	患の精神医学的特征	徴と作業療法の展	開方法について説明	けできるようになる。				
履修上の 注意事項	患についてグルー	・子回の翌週に小テスプディスカッション [・] こ場合は他学生から	で理解を深めます	。授業中の私語、及び	なかった場合は評価 が携帯電話・スマート	の対象になりまt フォンの使用は禁	せんので注意してくだ。 止します。配布資料は	さい。授業では各社 予備の配布はしま	
	回数			講義内容			事前·事	後学修	
	第1回	第1回 オリエンテーション、認知機能リハビリテーション							
	第2回	統合失調症の作業	療法①				統合失調症の過去問プリン	トを解く(60分)	
	第3回	統合失調症の作業	統合失調症の作業療法につスト対策をする(60分)	いて過去問で復習し、小テ					
	第4回	第4回 気分障害(うつ病・双極性障害)の作業療法①							
	第5回	気分障害(うつ病・	双極性障害)の作	業療法②			気分障害の作業療法につい 対策をする(60分)	て過去問で復習し、小テス	
	第6回	神経症性障害の作	業療法①				神経症性障害の過去問プリ	ントを解く(60分)	
	第7回	神経症性障害の作	業療法②				神経症性障害の作業療法に テスト対策をする(60分)	ついて過去問で復習し、小	
授業計画	第8回	摂食障害の作業療	法①				摂食障害の作業療法につい 対策をする(60分)	て過去問で復習し、小テス	
	第9回	パーソナリティ障害	害の作業療法①				パーソナリティ障害の過去問プリントを解く(60分		
	第10回	パーソナリティ障害	手の作業療法②				パーソナリティ障害の作業 し、小テスト対策をする(60		
	第11回	物質関連障害(薬物	物依存・アルコール	ν依存)の作業療法①)		物質関連障害の過去問プリ	ントを解く(60分)	
	第12回	物質関連障害(薬物	物依存・アルコール	が依存)の作業療法②)		物質関連障害の作業療法に テスト対策をする(60分)	ついて過去問で復習し、小	
	第13回	てんかんの作業療	法①				てんかんの過去問プリントを	を解<(60分)	
	第14回	てんかんの作業療	法②				てんかんの作業療法につい 対策をする(60分)	て過去問で復習し、小テス	
	第15回	科目のまとめ					授業で説明のあった期末試る(60分)	験対策のポイントをまとめ	
成績 評価方法	期末試験90%、小	マスト10%							
д I IM(23/12)	ただし、受験資格を	を満たしていない場					ICDA	7_L	
教科書			第3版 朝田隆・中島	者(出版社) 島直・堀田英樹(中央 ・台工業・2006年			978-4-80	コード 58-5980-3	
	標準理学療法学·		分野 精神医学(歯薬出版株式会社) 集:上野 武治(医学	書院)	978-4-26	3-21933-1 00-4476-9 0-03944-4	
参考書	作用"成化"上来依法	カラス からまれ 小学をご	」 柳州(位于音阮)				910-4-20	J JJ7 44-4	
教員からの メッセージ	各疾患の事前学習	のプリント(過去問))は必ず次回の授	業までに実施し、グル	, 一プディスカッション	ノには自主的・積	_ 亟的に取り組んでくだ	さい。	
教員との 連絡方法	kawabata@hc	u.ac.jpにまず連絡	をください。						
実務経験の ある教員)実務経験を伴う作詞 でいて疾患別の作詞							

科目コード	R7021	授業科目名			発達過程	作業療法学		
履修区分	必修	開講期	2年	後期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者		•	•	平原	文		•	
授業の概要					体的に考え、学びま も」についてグルーフ		宇施し、その後実践	例を学びます。
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	を身につける					0
DD との間 声		識・技術を基盤にし						0
DPとの関連		ち、自己を変革しつ 社会と協働し、人々(を身につける			0
				=卒業までに身に作	付けるべき資質・能力	ל		
到達目標	・障害を持つ子ども	を築く方法を3つ列 ちへの関わり方につ うがあることを知る。	いて、配慮する点に		₹る			
履修上の 注意事項		を守ってください こ保管してください 刃な場合は、厳重注		ます				
	回数			講義内容			事前·事	事後学修
	第1回	オリエンテーション	パ子どもと接する時	う ずる かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん	-		子ども、特に幼児と接するB分)。	寺のイメージしておく(60
	第2回	子どもの発達につ	いて①:0歳~1歳	までの発達について	実技を交えて		実践した実技を復習する(6	00分)。
	第3回	子どもの発達につ	いて②:1歳以降の	発達について実技を	交えて		実践した実技を復習する(6	00分)。
	第4回	子どもの発達を促	す作業療法:事例①	の実践場面動画(定	E型発達)		定型発達の子どもへの作業 (60分)。	療法をイメージしておく
	第5回	子どもの発達を促	す作業療法:事例①	の実践場面の実技			実践した実技を復習する(6	00分)。
	第6回	子どもの発達を促	す作業療法:事例②	の実践場面動画(発	発達障害)		発達障害を持つの子どもへ おく(60分)。	の作業療法をイメージして
	第7回	子どもの発達を促	す作業療法:事例②	の実践場面の実技			実践した実技を復習する(6	-0分)。
授業計画	第8回	子どもの発達を促	す作業療法:事例③	の実践場面動画(脳	凶性麻痺)		脳性麻痺を持つの子どもへおく(60分)。	の作業療法をイメージして
	第9回	子どもの発達を促	す作業療法:事例③	の実践場面の実技			実践した実技を復習する(6	,0分)。
	第10回	子どもの発達を促	す作業療法:事例④	の実践場面動画(重	重症心身障害)		重症心身障害を持つの子と しておく(60分)。	ざもへの作業療法をイメージ
	第11回	子どもの発達を促	す作業療法:事例④	の実践場面の実技			実践した実技を復習する(6	(0分)。
	第12回	事例呈示による作	業療法を考える①:	各自で取り組む			事例に対する作業療法をイ	メージする(60分)。
	第13回	事例呈示による作	業療法を考える②:	小グループでのデー	ィスカッション		グループディスカッションで (60分)。	で得られた気づきをまとめる
	第14回	事例呈示による作	業療法を考える③:	教員によるデモンス	ストレーション		自分たちが考えた作業療法 いについて考える(60分)。	と教員による作業療法の違
	第15回		のダイジェストのま	とめ			この授業を振り返り、子ども 要であるかを振り返る(60	5の発達を促すために何が重 分)。
成績 評価方法	期木試験(60%)・	・提出物(40%)にて	、総合評価します。					
ДУСУЩ ГВ	ただし、受験資格を	を満たしていない場		<u> </u>				
教科書	標準作業療法学発	達過程作業療法学		皆(出版社) 書院)				コード 0-01758-9
拟行首								
参考書								
沙方百				- 0.0 1 / 1 7+1				
教員からの メッセージ	技業はアクション・ 	リアクションによるこ	コミユニケーション 「	ぐ成り立ちます。積極	亟的に楽しみながら <u>;</u>	귳 講し(ください。		
教員との 連絡方法	パソコンのアドレス	スまでメールを送って	てください。aya.77	2710@hcu.ac.jr)			
実務経験の ある教員					士。その間に担当した 列動画は担当教員の		人。こちらの経験を基 面を使用します。	まに障害を持つ子

科目コード	R7022	授業科目名			発達過程作業	療法学演習 [
	必修	開講期	2年	後期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	2.5	17.021.3743			主文		1 122	
授業の概要	※例えば、初対面の	の子どもと一瞬で仲 法士の役割について	良くなる方法は?を	を一緒に考え、実技	に実技を交えて学び も行います。 とるだけでなく、少人		ー ィスカッションを取 ^り	リ入れ、自分たちの
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	を身につける					0
DPとの関連		識・技術を基盤にした ち、自己を変革しつ						0
DI CONDE	④地域社会·国際社	社会と協働し、人々の	の健康生活のニーズ	に対応できる能力				0
到達目標	・子どもと一瞬で何・障害を持つ子ども	・ボリジー(卒業認定 中良くなる方法を37 もへの関わり方につり うがあることを理解す	⊃列挙できる いて、配慮する点を	3つ列挙できる	付けるべき資質・能力]		
履修上の 注意事項		を守ってください こ保管してください 刃な場合は、厳重注意		ます				
	回数			講義内容			事前·	事後学修
	第1回	オリエンテーション	・診療報酬について	考える			診療報酬とは何かについ	て事前に調べる(60分)。
	第2回	作業療法の診療報	酬について①:病院	での診療報酬を計	うする		作業療法の診療報酬につ	いて事前に調べる(60分)。
	第3回	作業療法の診療報	酬について②:自分	が受けたい作業療	法を考える		作業療法の診療報酬についる(60分)。	いて、知り得たことを復習す
	第4回	作業療法の診療報	酬について③:グル	ープディスカッショ	ョン		作業療法の診療報酬につい(60分)。	いて、自分の考えをまとめる
	第5回	作業療法の治療に	ついて動画を用いる	て事例検討①			事例自身が持っている力にを持つ(60分)。	について、「できる」のイメージ
	第6回	作業療法の治療に	ついて動画を用いる	事例検討②			事例自身が持っている力にを持つ(60分)。	について、「できる」のイメージ
	第7回	作業療法の治療に	ついて動画を用いる	事例検討③			事例自身が持っている力! を持つ(60分)。	について、「できる」のイメージ
授業計画	第8回	事例についての作	業療法評価→実施る	・考える:各自で取	り組む		作業療法評価→実施に対	するイメージを持つ(60分)。
	第9回	事例についての作	業療法評価→実施る	⊵考える:小グルー	プでのディスカッショ	ョン	グループディスカッション (60分)。	で得られた気づきをまとめる
	第10回	事例についてのIC	Fを考える①:各自	で取り組む			事例に対してのICFをイメ	ニージする(60分)。
	第11回	事例についてのIC	Fを考える②:小グ	ループでのディス	カッション		グループディスカッション (60分)。	で得られた気づきをまとめる
	第12回	事例についての作	業療法実施までを小	ヽグループで発表(D		事例に対しての作業療法	実施をイメージする(60分)。
	第13回	事例についての作	業療法実施までを小	ヽグループで発表(ĵ	2)		事例に対しての作業療法	実施をイメージする(60分)。
	第14回	事例についての作	業療法実施までを教	対員によるデモンス	(トレーション		自分たちが考えた作業療法 いについて考える(60分)	法と教員による作業療法の違
	第15回	まとめ 1回~14回	回授業のダイジェスト	∼を振り返る			1~14回授業の大切な所	を確認する(60分)。
成績 評価方法	期末試験(60%)・	提出物(40%)にて	総合評価します。					
八八四十日	ただし、受験資格を	を満たしていない場						
***N - 1	イラストでわかる針	発達障害の作業療法	書名·著者 ·上杉雅之(医歯薬:					Nコード 63-21717-7
教科書								
参考書								
	授業はアクション・	リアクションによる。	コミュニケーションフ	ぶ成り立ちます 珪	極的に楽しみながら	受講 アください		
教員からの メッセージ						~µ#************************************		
教員との 連絡方法	パソコンのアドレス	マまでメールを送って	てください。aya.72	'710@hcu.ac.j	p			
実務経験の ある教員		法士として、15年間 践について、楽しみ			:士。その間に担当しか	き子どもは約600	人。こちらの経験を	基に障害を持つ子

科目コード	R7023	授業科目名			発達過程作業	療法学演習Ⅱ		
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者			1	平月	文			
授業の概要		害の部分を理解し、 法士としての役割に					て学びます。	
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	を身につける					0
DPとの関連		識・技術を基盤にした ち、自己を変革しつ						0
DI CONNE	④地域社会·国際	社会と協働し、人々の	の健康生活のニーズ	に対応できる能力				0
到達目標	・子どもと関わる時 ・子どもの笑顔を	・ポリシー(卒業認定 寺に気を付けること。 別き出す方法を3つ。 立って、対象者のこと	を3つ列挙できる 列挙できる		けるべき資質・能力	<u>י</u>		
履修上の 注意事項		を守ってください こ保管してください 刃な場合は、厳重注i	意をすることがあり	ます				
	回数			講義内容			事前·哥	事後学修
	第1回	オリエンテーション	・小児リハと支援制	度について			小児リハ支援制度について	調べる(60分)。
	第2回	障害を持つ子ども	の教育の場についる	て①:地域の学校			障害を持つ子どもが地域の る(60分)。)学校に通うイメージしてみ
	第3回	障害を持つ子ども	の教育の場についる	て②:特別支援学校			障害を持つ子どもが特別支 ジをしてみる(60分)。	を援学校に学校に通うイメー
	第4回	他職種からの相談	内容について考える	る その1:各自で取り	J組む		他職種からの相談内容につ分)。	いてイメージしてみる(60
	第5回	他職種からの相談	内容について考える	る その1:小グルーフ	プでのディスカッショ	ョン	グループディスカッションで (60分)。	で得られた気づきをまとめる
	第6回	他職種からの相談	内容について考える	る その2:各自で取り	り組む		他職種からの相談内容につ分)。	のいてイメージしてみる(60
	第7回	他職種からの相談	内容について考える	る その2:小グルーフ	プでのディスカッショ	ョン	グループディスカッションで (60分)。	で得られた気づきをまとめる
授業計画	第8回	他職種からの相談	内容について考える	る その3:各自で取り	り組む		他職種からの相談内容につ分)。	かいてイメージしてみる(60
	第9回	他職種からの相談	内容について考える	る その3:小グルーフ	プでのディスカッショ	ョン	グループディスカッションで (60分)。	で得られた気づきをまとめる
	第10回	他職種からの相談	内容について考える	る その4:各自で取り	り組む		他職種からの相談内容につ分)。	いてイメージしてみる(60
	第11回	他職種からの相談	内容について考える	る その4:小グルーフ	プでのディスカッショ	ョン	グループディスカッションで (60分)。	で得られた気づきをまとめる
	第12回	その1~4について	の発表(前半グル-	ープ)			他グループの発表について (60分)。	、自分の考えと比較してみる
	第13回	その1~4について	の発表(後半グルー	ープ)			他グループの発表について (60分)。	、自分の考えと比較してみる
	第14回	他職種からの相談	内容について教員に	こよるデモンストレ-	ーション		自分たちが考えた作業療法いについて考える(60分)。	と教員による作業療法の違 。
	第15回	まとめ 1回~14回	回授業のダイジェス	トを振り返る			1~14回授業の大切な所を	·確認する(60分)。
成績 評価方法	期末試験(60%)・	・提出物(40%)にて	総合評価します。					
八八四十百	ただし、受験資格を	を満たしていない場					I ICDN	
教科書	標準作業療法学発	達過程作業療法学·		者(出版社) 書院)				\コード 0-01758-9
参考書								
教員からの メッセージ	授業はアクション・	リアクションによるこ	コミュニケーションで	で成り立ちます。積極	極的に楽しみながら	受講してください。	1	
教員との	パソコンのアドレス	スまでメールを送って	てください。aya.72	2710@hcu.ac.jr)			
連絡方法 実務経験の ある教員		法士として、15年間 践について、楽しみ			士。その間に担当した	た子どもは約600	人。こちらの経験を	基に障害を持つ子

科目コード	R7024	授業科目名			作業療法	治療字総	論(埋論)				
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	女	15回	単位数		1単位	
担当者		•	•		宮崎 洋幸	•		•			
授業の概要	で、作業療法が人	履修した作業療法の限 間をどの様に見つめ す作業療法が持つ、専	り、作業遂行機能か	低下した対象者	の生活や能力的な						
	①平和を希求する	る心と豊かな人間性を	を身につける							0	
		口識・技術を基盤にし								0	
DPとの関連		もち、自己を変革して 社会と協働し、人々の			能力を身につける					Ο Δ	
	※DP:ディプロマ	ア・ポリシー(卒業認定	・学位授与の方針	・)=卒業までに	身に付けるべき資質	賃・能力			i		
到達目標	作業療法における	る作業を治療的に活店 るプロセスの詳細を理 をどの様に見るのか、	里解し説明できる。			明ができる。					
履修上の 注意事項	資料と教科書は近ください。	必ず授業前に準備し、	講義に間に合うよ	うに臨んでくだ	さい。また、配布す	るプリントは	、重複して	説明することがあ	るので、	毎回持参し	
	回数			講義内容	ř			事	前·事後学	修	
	第1回	オリエンテーション	・・DVD鑑賞・作業	療法を観る①				受講感想・気づきシー	トとワークシ	一片作成(60分	
	第2回	第2回 作業療法を観る②									
	第3回	第3回 作業療法を観る③)分)		
	第4回	作業療法を観る④)分)		
	第5回	AOTA作業遂行モ	デル①					受講感想・気づきシ-	-ト作成(60分))	
	第6回	AOTA作業遂行モ	デル②					受講感想・気づきシー	-ト作成(60分	(1	
	第7回	AOTA作業遂行モ	デル③					受講感想・気づきシー	- 卜作成(60分))	
授業計画	第8回	作業療法実践の仕	組み①:処方・面括	接·情報収集				受講感想・気づきシート作成(60分)			
	第9回	作業療法実践の仕	:組み②:初期評価	計画立案と評価	結果からの検討事項	項		受講感想・気づきシート作成(60分)			
	第10回	作業療法実践の仕	組み③:問題点抽	出と焦点化・目標	票設定・作業療法介	入計画立案		受講感想・気づきシー	-ト作成(60分	(1	
	第11回	作業療法実践の仕	組み④:症例報告	サマリーに記載	するための演習1			受講感想・気づきシ-	- 卜作成(60分)	
	第12回	作業療法実践の仕	組み⑤:症例報告	サマリーに記載	するための演習2			受講感想・気づきシー	-ト作成(60分)	
	第13回	作業療法の理論①)					受講感想・気づきシー	-ト作成(60分)	
	第14回	作業療法の理論②	・作業療法を観る	5				受講シート・ワークシ	卜作成(605	分)	
	第15回	作業療法の理論③	・作業療法を観る	6				受講シート・ワークシ	ート作成(605	分)	
라]	受講シート・ワーク	クシート30%と期末	試験70%								
成績 評価方法	ただし、受験資格	を満たしていない場	合は評価の対象と	こしない。							
	た業長される理会	□ 装笠 4 炬 C o o v le		者(出版社)					SBNJ-		
教科書		原著第4版 Gary k 菊池恵美子·斉藤佑							90808	<u>1975-0</u> 3167	
	// 李泰注册→ C]本作業療法士協会総	6 协同医妻山岭4	-				070.4	7620	2118-5	
参考書		本作業療法工協会。 鎌倉矩子·他 三輪書		-					9590-1		
教員からの メッセージ		:見学実習で臨床を見 ひかを学びます。臨床					ハ。作業療法	 	人の作業を	をみつめ、	
教員との 連絡方法	303研究室に在	室中は、いつでも質問	問・相談などにきて	下さい。連絡方	法には、大学のメー	-ル(miyazl	niroy@hc	u.ac.jp)を使用	して下さり	, I ₀	

科目コード	R7025	授業科目名		身体	機能作業療法学Ⅱ	(内部障害・選	重動器系)	
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	NR 41 10.45 dt 12.46		70000000000000000000000000000000000000		島 千敬		to - + 1 1 1 + 2 T = V	
授業の概要	連動器疾患や筋治療の概要につい		及器 疾患、循 项 器势	F.患、代謝 疾患等)、	がんについて、その症	沃と 生沽機能障	書のつなかりを解説	し、作業療法の評価、
	①平和を希求する	る心と豊かな人間性を	を身につける					_
DPとの関連		コ識・技術を基盤にした ち、自己を変革しつ						0
DPCVIAE		社会と協働し、人々の			カを身につける			0
				, ,,,,,	付けるべき資質・能力 参加の制約を説明でき			
到達目標		競技感・助失感・内部 は器疾患・筋疾患・内部				500		
履修上の 注意事項		中で講義を行う。講義 を確認するために、定			語も慎むこと。			
	回数			講義内容			事前・	事後学修
	第1回	運動器疾患(1)					講義内容の復習を行い、	理解を深める(60分)
	第2回	運動器疾患(2)					講義内容の復習を行い、	理解を深める(60分)
	第3回	運動器疾患(3)					講義内容の復習を行い、	理解を深める(60分)
	第4回	筋疾患					講義内容の復習を行い、	理解を深める(60分)
	第5回	呼吸器疾患					講義内容の復習を行い、	理解を深める(60分)
	第6回	心大血管疾患					講義内容の復習を行い、	理解を深める(60分)
1 m 3 N/4 - 1	第7回	代謝疾患、下部尿路	路障害、腎臓疾患				講義内容の復習を行い、	理解を深める(60分)
授業計画	第8回	がん					講義内容の復習を行い、	理解を深める(60分)
	第9回							
	第10回							
	第11回							
	第12回							
	第13回							
	第14回							
	第15回	h=71.200/						
成績 評価方法	期末試験80%、/	ハナスト20%						
	ただし、受験資格	を満たしていない場		:しない。 :者(出版社)			l ico	Nコード
教科書		法学 第4版·山口 昇	、他·編(医学書院				978-4-2	60-04682-4
7A17 E	がんのリハビリテ	ーション・辻哲也・編	(医学書院)				978-4-2	60-03440-1
参考書		みリハビリテーション ション・上月正博 編	=					21-73672-3 63-21870-9
教員からの メッセージ	対象者の機能障	害のみならず、生活	障害を常にイメー	ジしながら予習、復	習を行うとよい。			
教員との 連絡方法		在室しているときに D1研究室 takashi			等で予約をしておいた	方が確実です。		
実務経験の ある教員	病院での実務経	験を活かし、作業療	法評価の目的や具	体的な方法につい	て教育する。			

科目コード	R7026	授業科目名			身体機能作業	療法学演習Ⅱ		
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者					計 千敬			
授業の概要	運動器疾患や筋	疾患、内部障害(呼吸	及器 <u>疾</u> 患、循環器疾	天患、代謝疾患等)、	がんの作業療法介入に	こついて、実技や	事例検討を通じて教芸	ਦੋ ਰੇਠੇ
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観をも ④地域社会・国際	6心と豊かな人間性を 可識・技術を基盤にし 5ち、自己を変革しつ 社会と協働し、人々の	た総合的臨床能力 づける能力を身に の健康生活のニー	- こつける ズに対応できる能力]を身につける 付けるべき資質・能力			- © O
到達目標	1. 代表的な運動	器疾患・神経筋疾患 じて、これらの疾患ん	・内部障害、がんへ	の作業療法評価、流		'		
履修上の 注意事項		5用して講義する。講 を確認するために小っ	3.4	オンの使用は禁止、	私語も慎むこと。			
	回数			講義内容			事前・	事後学修
	第1回	運動器疾患(1)					事前に提示された事例の「 ストを実施する場合には講	リークシートを作成する。』 義の復習も行う。(60分)
	第2回	運動器疾患(2)					事前に提示された事例の「 ストを実施する場合には講	リークシートを作成する。小 義の復習も行う。(60分)
	第3回	末梢神経障害(1)					事前に提示された事例のワストを実施する場合には講	リークシートを作成する。小 義の復習も行う。(60分)
	第4回	末梢神経障害(2)					事前に提示された事例のワストを実施する場合には講	
	第5回	筋疾患(1)					事前に提示された事例のワストを実施する場合には講	義の復習も行う。(60分)
	第6回	筋疾患(2)					事前に提示された事例のワストを実施する場合には講	リークシートを作成する。小 義の復習も行う。(60分)
±0,₩=1, ±	第7回	呼吸器疾患(1)					事前に提示された事例の「 ストを実施する場合には講	リークシートを作成する。小 義の復習も行う。(60分)
授業計画	第8回	呼吸器疾患(2)					事前に提示された事例のワストを実施する場合には講	義の復習も行う。(60分)
	第9回	心大血管疾患(1)					事前に提示された事例のワストを実施する場合には講	ルークシートを作成する。小 義の復習も行う。(60分)
	第10回	心大血管疾患(2)					事前に提示された事例のワストを実施する場合には講	リークシートを作成する。小 義の復習も行う。(60分)
	第11回	代謝疾患					事前に提示された事例のワストを実施する場合には講	リークシートを作成する。J 義の復習も行う。(60分)
	第12回	下部尿路障害、下腺	支慢性創傷等				事前に提示された事例のワストを実施する場合には講	リークシートを作成する。小 義の復習も行う。(60分)
	第13回	がん(1)					事前に提示された事例のワストを実施する場合には講	
	第14回	がん(2)					事前に提示された事例のワストを実施する場合には講	リークシートを作成する。』 義の復習も行う。(60分)
	第15回	急性期の作業療法					講義内容の復習を行い理解	军を深める。(60分)
成績 評価方法	期末試験80%、/	小テスト20% を満たしていない場	合は評価の対象と	1,ない。				
			書名·著	者(出版社)				コード
教科書		法学 第4版・山口 昇 ーション・辻哲也・編)				0-04682-4 0-03440-1
参考書		及リハビリテーション ション・上月正博 編	=					1-73672-3 3-21870-9
教員からの メッセージ	事例検討や実技	が中心となる事例検	討では事前に資料	斗を配布するので、'	フークシートにしっかり	りと取り組み講義	に臨むこと。	
教員との 連絡方法		在室しているときに 01研究室 takashi			「で予約をしておいた」	方が確実です。		
実務経験の ある教員	病院での実務経	験を活かし、作業療	法評価の目的や具	体的な方法につい ⁻	で教育する。			

科目コード	R7027	授業科目名			高次脳機能	作業療法学			
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位	
担当者				宮崎 洋幸	・岩本 優士				
授業の概要	でもあり、大脳のは対象者の高次脳機	いずれかの損傷は人	、間の心になんらた するためには、症	かの変化をもたらせる	ことにもなる。		。特に大脳は人間の心 発剖学的視点、発達的		
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	を身につける					Δ	
DPとの関連		識・技術を基盤にし						0	
DPCUNNE		らち、自己を変革しつ 社会と協働し、人々(こうける ·ズに対応できる能力	を身につける			Ο Δ	
				†)=卒業までに身に				I	
到達目標				た、高次脳機能障害の でで、症候別の評価や					
履修上の 注意事項				、毎回持参するように トを抑えた上で受講し		た、授業を受ける	際の準備として、学習	のポイントを事	
	回数			講義内容			事前·事	後学修	
	第1回	オリエンテーション	//テキストの説明	月/DVD鑑賞			受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
	第2回	脳の機能解剖・脳の	の発達と高次脳機	能の獲得・基礎知識	こついて		受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
	第3回	高次脳機能障害の)概要				受講シート・自主学習シート作成(60分)		
	第4回	注意障害の作業療	 (法				受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
	第5回	記憶障害の作業療	 法				受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
	第6回	失語症の作業療法	<u> </u>				受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
	第7回	失行症の作業療法	<u> </u>				受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
授業計画	第8回	第8回 失認の作業療法					受講シート・自主学習シート作成(60分)		
	第9回	半側空間無視の作	業療法				受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
	第10回	遂行機能障害の作	業療法				受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
	第11回	社会的行動障害の)作業療法				受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
	第12回	高次脳機能障害の)評価について				受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
	第13回	高次脳機能障害の)治療について①				受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
	第14回	高次脳機能障害の)治療について②				受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
	第15回	高次脳機能障害者	の社会支援と自動	動車運転について/ネ	総括		受講シート・自主学習シート	作成(60分)	
成績	提出課題および小	・テストなど30%・其	月末試験70%						
評価方法	ただし、受験資格	を満たしていない場	合は評価の対象と	-1,ない。					
			書名·著	皆者(出版社)				コード	
教科書		聚法学 第2版 能登真 i像 改訂第2版 酒向		-)-013818-8 83-2013-9	
	高次脳機能暗事で	プエストロ③ 鈴木孝流	台 他 医歯薬出版:	株式会社			978-4-26	3-21563-0	
参考書	高次脳機能障害学	第3版 石合純夫 著	著 医歯薬出版株式	式会社	.ue.li		978-4-26	3-26651-9	
教員からの メッセージ	高次脳機能障害を 関わる頻度が多い	罹患されている対象	象者の理解につな)りと知識を身につl		9784763 と台を作っていきまし う。自主課題シート作	ょう。また、臨床	
教員との	組みが大切です。 研究室303室になった。	主室中でしたら、いつ	つでも質問・相談に	寄って下さい。また	、連絡方法としては、	大学のメール(m	yazhiroy@hcu.ac	.jp)を使用して	
連絡方法 —————									
実務経験の ある教員									

科目コード	R7028	授業科目名			高次脳機能作	業療法学演習		
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者				宮崎 洋幸	・岩本 優士			
授業の概要	でもあり、大脳の	することでさまざまた いずれかの損傷は人 機能障害を臨床評価	、間の心になんらか	の変化をもたらせる	ことにもなる。			
	①平和を希求する	る心と豊かな人間性を	を身につける					Δ
DPとの関連		ロ識・技術を基盤にし らち、自己を変革しつ						0
DPCV闲庄	L	社会と協働し、人々の			を身につける			Ο Δ
		ア・ポリシー(卒業認定 害に対する評価を理) = 卒業までに身に [,]	付けるべき資質・能力	<u></u>		
到達目標	2. 高次脳機能障	音に対する計画を達 害の各症状に対する 害の各症状に対する	具体的評価方法を			ができる。		
履修上の 注意事項	資料と教科書は必 うに心がけて下さ	必ず授業前に準備し、 Sい。	講義に間に合うよ	うに臨んで下さい。	また、配布するプリン	ノトは、重複して説6	明することがあるの	で、毎回持参するよ
	回数			講義内容			事前・	事後学修
	第1回	オリエンテーション	ノ/DVD視聴/高次	欠脳機能障害の症例	に対する臨床像		復習課題・受講シート作成	(60分)
	第2回	高次脳機能障害の)症例に対する作業	療法実施例			復習課題・受講シート作成	(60分)
	第3回	脳画像の見方・脳	復習課題・受講シート作成(60分)					
	第4回	脳画像の見方・脳	局在と症状の同定の	② 画像の特色など			復習課題・受講シート作成	(60分)
	第5回	脳画像の見方・脳	局在と症状の同定の	③ 局在と想定され	る症状		復習課題・受講シート作成	(60分)
	第6回	脳画像の見方・脳	局在と症状の同定の	④ 局在と想定され	る症状		復習課題・受講シート作成	(60分)
	第7回	脳画像の見方・脳	局在と症状の同定の	う 局在と想定され	る症状		復習課題・受講シート作成	(60分)
授業計画	第8回	高次脳機能検査法	演習①(グループ詞	問査)			レポート課題作成(60分)	
	第9回	高次脳機能検査法	演習②(グループ詞	問査)			レポート課題作成(60分)	
	第10回	高次脳機能検査法	演習③(グループ詞	問査)			レポート課題作成(60分)	
	第11回	高次脳機能検査法	演習④(グループ詞	問査)			レポート課題作成(60分)	
	第12回	高次脳機能検査法	演習⑤(グループ詞	問査)			レポート課題作成(60分)	
	第13回	初期評価計画立案	震演習①(OR・まとめ	カシート説明・症例核	討)		復習課題・受講シート作成	(60分)
	第14回	初期評価計画立案	溪演習②(症例検討)				復習課題・受講シート作成	(60分)
	第15回		寒演習③(症例検討)	/総括			復習課題・受講シート作成	(60分)
成績 評価方法	演習課題50%・し	ンポート課題50%						
11 IM/37/24	ただし、受験資格	を満たしていない場					I ICDI	VIII— L'
教科書		療法学 第2版 能登真	一編集 医学書院				978-4-26	√コード 0-013818-8
扒竹目	リハに役立つ脳画	画像 改訂第2版 酒向	I正春 監修 MEDIC	CAL VIEW			978-4-75	583-2013-9
参考書	高次脳機能障害等	学 第3版 石合純夫	著 医歯薬出版株式	会社			978-4-26	3-26651-9
教員からの メッセージ		を罹患されている対 日頃から社会人とし				知識を身につけて		色の土台を作ってい
************************************		では、303研究室に 期は、メールにて質問				.jp		
実務経験のある教員								

科目コード 	R7029	授業科目名		1	高齢期作	耒 療法子			
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位	
担当者				宮崎 洋幸	・渡邊 哲也				
授業の概要	老年期医療・老 <i>)</i> を有している。そ	、 保健分野での作業療法 発年期分野で作業療法	逐法士の役割は大きを用いるための脳	Eい。作業療法士は が、身体、精神に関す	対象者の老年期特有 <i>0</i> る知識を統合する力を)状況を考慮し、心を養う。	心身、そして脳機能の	犬態をとらえる	
)Pとの関連	②修得した専門:	る心と豊かな人間性。 知識・技術を基盤にし もち、自己を変革しつ 祭社会と協働し、人々(た総合的臨床能力 づける能力を身に	こつける	を身につける			Ο	
	※DP:ディプロ	マ・ポリシー(卒業認定	・学位授与の方針)=卒業までに身に	付けるべき資質・能力			i	
到達目標		社会的側面から、老化の援助のためのリスク							
履修上の 注意事項	資料配布は最小	限にします。黒板に書	く内容をノートに動	<u>を</u> 理して理解してくだ	ざさい。				
	回数			講義内容			事前·事	事後学修	
	第1回	オリエンテーション	・・高齢者に関する	基本知識(宮崎)			受講シート作成(60分)		
	第2回	老化・老年症候群に	こついて(宮崎)				受講シート作成(60分)	受講シート作成(60分)	
	第3回	高齢期作業療法の	目的(宮崎)				受講シート作成(60分)		
	第4回	高齢期作業療法が	実施される場所(2	宮崎)			受講シート作成(60分)		
	第5回	高齢者に対する作	業療法士の基本的]態度(宮崎)			受講シート作成(60分)		
	第6回	作業療法の手技と	技法(評価·観察)	(宮崎)			受講シート作成(60分)		
145 NW = 1	第7回	作業療法の手技と	技法(面接)(宮崎))			受講シート作成(60分)		
授業計画	第8回	認知症に関する知	識(病態、中核・周	辺症状と臨床像)(源	[邊)		講義資料へのポイント記入(60分)	
	第9回	認知症高齢者の作	業療法①(評価と	その目的)(渡邊)			講義資料へのポイント記入(60分)	
	第10回	認知症高齢者の作	業療法②(アクティ	(ビティと活動形態)	(渡邊)		講義資料へのポイント記入(60分)	
	第11回	認知症高齢者のリ	スク管理(渡邊)				講義資料へのポイント記入(60分)	
	第12回	認知症者の家族支	援及び多職種連携	きと認知症初期集中	支援チーム(渡邊)		講義資料へのポイント記入(60分)	
	第13回	事例検討①(宮崎)	1				受講シート作成(60分)		
	第14回	事例検討②(宮崎))				受講シート作成(60分)		
	第15回	高齢期作業療法の	実践/総括(宮崎))			受講シート作成(60分)		
成績 評価方法		・課題レポート・小テス		しない。					
			書名·著	者(出版社)				コード	
教科書	局齡期作業療法	学 第3版 松房利憲	他 医学書院				978-4-26)-02440-2	
参考書	認知症の作業療認知症のある人	大内尉義 他 医学書院 法 小川敬之 他 医値 の生活と作業療法 守	基薬出版				978-4-26	0-03947-5 3-21334-6 590-610-4	
教員からの メッセージ		る予定にしています。 アファイルなどに保管		ーーーーー いにしておいて下さい	, 1 _o				
教員との 連絡方法	適宜、研究室を記メールでの連絡	方れてください。 :miyazhiroy@hcu	.ac.jp (宮崎)、	watanabe777@	hcu.ac.jp (渡邊)				
ミ務経験の									

科目コード	R7030	授業科目名			一	療法学演習			
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位	
担当者				宮崎 洋幸	・渡邊 哲也				
授業の概要	高齢期作業療法等参加型の演習を実		神に関する知識を	統合する力を養い	これらについて演習る	をとおして、学びを	を深める。		
		ら心と豊かな人間性を 1識・技術を基盤にした		」を身につける				O ©	
DPとの関連	④地域社会·国際	5ち、自己を変革しつ 社会と協働し、人々6 ・・ポリシー(卒業認定	の健康生活のニー	ズに対応できる能力	」を身につける 付けるべき資質・能力			Ο Δ	
到達目標		業療法の目標設定が こついて、評価・観察す		とができる。					
履修上の 注意事項	実際場面を想定し	た事例を用いた演習	冒をグループで実	施します。欠席をし ^ヵ	いよう体調管理をし	てください。			
	回数			講義内容			事前·哥	事後学修	
	第1回	オリエンテーション	高齢期作業療法	もの介入概論(宮崎)			受講シート・課題レポート作	成(60分)	
	第2回	高齢者の評価演習	① 観察(居室・Al	DL·APDL)·面接(宮崎)		受講シート・課題レポート作	成(60分)	
	第3回	高齢者の評価演習	② MMSE·HDS	S-R(宮崎)			受講シート・課題レポート作成(60分)		
	第4回	高齢者の評価演習	③ SDS・パラチュ	ェック老人行動評定/	尺度・STAY など(宮崎	奇)	受講シート・課題レポート作	成(60分)	
	第5回	福祉用具と日常生	活支援演習①家	屋改造(宮崎)			受講シート・課題レポート作	成(60分)	
	第6回	福祉用具と日常生	活支援演習② 離	床と広義のシーティ	ング(宮崎)		受講シート・課題レポート作	成(60分)	
授業計画	第7回	福祉用具と日常生	活支援演習③ ノ-	ーリフト介助と福祉	用具の活用1(宮崎)		体験レポート作成(60分)		
XXIII	第8回	福祉用具と日常生	活支援演習④ ノ-	ーリフト介助と福祉	用具の活用2(宮崎)		体験レポート作成(61分)		
	第9回	症例検討① 情報収	双集と評価(宮崎)				受講シート・課題レポート作	成(60分)	
	第10回	症例検討② 統合と	解釈・レジメの作	成(宮崎)			受講シート・課題レポート作	成(60分)	
	第11回	認知症高齢者に対	する接し方(渡邊)			課題作成(60分)		
	第12回	認知症ケアメソット	の活用(渡邊)				生活の中での介入技術の活	5用(60分)	
	第13回	認知症ケーススタラ	ディ①情報収集と	評価計画(渡邊)			レポート作成(60分)		
	第14回	認知症ケーススタラ	ディ②評価と介入	(渡邊)			レポート作成(60分)		
	第15回	認知症ケーススタラ		目標設定(渡邊)			レポート作成(60分)		
成績 評価方法		評定する(宮崎60%							
	ただし、受験資格	を満たしていない場		:しない。 諸者(出版社)			ISBN	リコード	
教科書		法 改訂第3版 浅海系版 山根寛 三輪書店	ミ津美 他 三輪書				978-4-89	590-638-8 590-615-9	
参考書		ち 小川敬之 他 医歯 ち 大塚俊男 他 ワー						3-21334-6 948742	
教員からの メッセージ	課題を通して、評	価やプログラム立案(アプロセスを理解	してください。課題	の作成に関する疑問点	京、不明点は積極的		٠١١،	
教員との連絡方法	メール:miyazhi	roy@hcu.ac.jp([宮崎) watana	be777@hcu.ac	.jp (渡邊)				

科目コード	R7031	授業科目名			表肢学(演	習を含む)		
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者			L	渡				l
授業の概要					。切断者のリハビリテ- な的な知識を学修する。		「概説したのち、断端な	ア及び切断者の心
DPとの関連	②修得した専門知	る心と豊かな人間性を ロ識・技術を基盤にし らち、自己を変革しつ	た総合的臨床能力					— © O
		社会と協働し、人々の			力を身につける [付けるべき資質・能力			_
到達目標	・臨床現場におい	て応用できる最低限	の知識を得る。		・訓練、チェックアウト		ができる。	
履修上の 注意事項	義肢の取り扱い及	び管理を適切に行う	うこと、物品の使用	については衛生管	理を適切に行うこと、	メディアの使用は	‡指示された場合以外	は使用しないこと
	回数			講義内容			事前·	事後学修
	第1回	オリエンテーション	·				切断者の実際について様々 識を習得しておく	なメディアを視聴し、予備知
	第2回	切断の分類					教科書P4~10を確認し、すること	刃断についての概要を把握
	第3回	切断部のケア・弾力	」包帯の巻き方				プリントを確認して巻き方は プリントを見ずに巻くことが	D手順を理解すること。また パできるようにすることと。
	第4回	義手の分類					教科書P12の4つの義手にこと	ついて、目的を確認しておく
	第5回	義手を構成する部	品と構造				各義手の継手、ソケット、ハ しておくこと	ーネス、手先具について確認
	第6回 コントロールケーブルシステムと操作							れているコントロールケーブ 確認すること
	第7回	義手の訓練の流れ					教科書P33~、P49~のましておくこと	臣例から、訓練の実際を確認
授業計画	第8回	前腕義手 チェック	アウト				前腕義手のチェック項目を	確認しておくこと
	第9回	前腕義手 チェック	アウト				不適合時の原因について研	認しておくこと
	第10回	上腕義手 チェック	アウト				上腕義手のチェック項目を	確認しておくこと
	第11回	上腕義手 チェック	アウト				不適合時の原因について研	認しておくこと
	第12回	筋電義手					筋電義手の実際について相 知識を習得しておく	^長 々なメディアを視聴し、予備
	第13回	義足概論					教科書P88~101におい しておくこと	て義足を学ぶポイントを確認
	第14回	まとめ・課題演習					国家試験の問題に対応でき うこと	るよう知識の再確認をお行
	第15回	まとめ・課題演習					国家試験の問題に対応でき うこと	るよう知識の再確認をお行
成績 評価方法	期末試験100%							
日十四ノノス	ただし、受験資格	を満たしていない場		しない。 者(出版社)			l ISBN	ロード
教科書	リハビリテーショ	ン義肢装具学・清水						58317221
参考書								
教員からの	切断者の疑似体制	剣は難しいため、様々	な文献を読み、切り	断者·義肢装着者 <i>0</i>)イメージをつけておく	と、講義内容の	 理解が進みます。	
メッセージ 教員との	別途、オフィスアワ	フーを指定します。						
連絡方法 実務経験の								
ある教員								

科目コード	R7032	授業科目名			装具学(演	(習を含む)			
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位	
担当者					邊 哲也				
授業の概要	治療するといった		り技能を習得する。		、作成された後の装着 いて必要とされる能力				
	①平和を希求する	る心と豊かな人間性な	を身につける					_	
DPとの関連		ロ識・技術を基盤にし らち、自己を変革しつ						0	
DFCV为庄	④地域社会·国際	社会と協働し、人々の	の健康生活のニー	ズに対応できる能				O —	
		?・ポリシー(卒業認定 で応用できる最低限の)=卒業までに身	こ付けるべき資質・能力	ל			
到達目標				上上げまでスプリン	トを作成することがで	きる。			
履修上の 注意事項					周管理に努めること。 材、物品等は丁寧に扱	うこと。			
	回数			講義内容			事前・	事後学修	
	第1回	オリエンテーション	/・装具の概念・歴史	Ę			装具使用者の実際につい 備知識を習得しておく	て様々なメディアを視聴し	
	第2回	体幹装具·下肢装具	具の分類				体幹装具の装着方法につ に対象者に装着できるよ	いて確認しておく。また実 うになる。	
	第3回	体幹装具・下肢装具	具の構造・適応				下肢装具の装着方法について確認しておく。ま に対象者に装着できるようになる。		
	第4回	チェックアウトと使	用上の工夫				実際に装具を装着し、生活の分析をまとめておく	上の課題や工夫点につい	
	第5回	上肢装具の分類・	目的·適応疾患1				指装具・手装具の分類につ	いて確認しておく	
	第6回	上肢装具の分類・	目的・適応疾患2				手関節装具、肘装具の分類	[について確認しておく	
1-2 314 - 1	第7回	上肢装具の分類・	目的·適応疾患3				対立装具、機能的把持装具	との分類について確認して	
授業計画	第8回	様々な装具療法					教科書に記載されている 認しておく	定例について訓練の実際	
	第9回	スプリント作成の流	流れ、				教科書P398~401の物おく	品及び作成の流れを確認	
	第10回	様々な型紙とチェ	ックアウト				型紙の記載方法についてはあるようにすること	手順を十分理解し、迅速	
	第11回	スプリント 型紙作	成				短対立スプリントの型紙の 分理解し、迅速に描けるよ	記載方法について、手順うにすること	
	第12回	スプリント 型紙作	成				夜間安静用スプリントの型を十分理解し、迅速に描け		
	第13回	スプリント作成①					必要物品と環境整備、後月	付けを適切に行うこと	
	第14回	スプリント作成②					必要物品と環境整備、後月	付けを適切に行うこと	
	第15回	スプリント作成③					必要物品と環境整備、後月	付けを適切に行うこと	
成績	期末試験60%、	実技(製作課題)40%	6						
評価方法	ただし、受験資格	<mark>を満たしていない場</mark>							
かいき	リハビリテーショ	ン義肢装具学・清水		者(出版社) 〈ジカルビュー社)				Nコード 58317221	
教科書									
参考書	手のスプリントの	すべて 第3版・矢﨑	潔(三輪書店)				978-4-89	590-245-8	
教員からの メッセージ		は学生が2人以上で 「の準備、片付けはそ			♪ます。臨床に出る練習 ごさい。	 習と思って、患者さ	 さんへの接し方、言葉ん	 かけに注意してく	
数号との	別途、オフィスアワ ください。	フーを指定します。ス	プリント演習の採	点期間は、その点に	関する質問は受け付け	けることができな	い場合があります。拄	旦当教員に確認し	
教員との 連絡方法									

科目コード	R7033	授業科目名			精神機能作業	療法学演習Ⅱ		
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者				川畑	なみ			
授業の概要	臨床で用いられる	関連の治療技法につ	ついて理解する。自	自己の治療的利用のか	Eめ自己の特性を知	ა .		
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観をも ④地域社会・国際		- た総合的臨床能力 でける能力を身に の健康生活のニー]		— © Δ Δ
到達目標	主な対象となる疾	患の精神医学的特徴	徴と作業療法の展	開方法について説明	できる。			
履修上の 注意事項							んので注意してくださ 学生からコピー等をし	
	回数			講義内容			事前·事	後学修
	第1回	オリエンテーション	v、精神分析的視点	・転移とは			次回に備え統合失調症の過	去問プリントを解く(60分
	第2回	ケーススタディ①糸	統合失調症				次回に備え気分障害の過去 対策をする(60分)	問プリントを解く、小テスト
	第3回	ケーススタディ②う	うつ病・双極性障害	Ē			次回に備え神経症性障害の過去問プリントを解くスト対策をする(60分)	
	第4回	ケーススタディ③ネ	申経症性障害				次回に備え摂食障害の過去に対策をする(60分)	問プリントを解く、小テスト
	第5回	ケーススタディ④技	摂食障害				次回に備えパーソナリティ障 く、小テスト対策をする(60)	害の過去問プリントを解 分)
	第6回	ケーススタディ⑤ノ	パーソナリティ障害	틸			次回に備え物質関連障害の スト対策をする(60分)	過去問プリントを解く、小っ
	第7回	ケーススタディ⑥物	勿質関連障害				次回に備えてんかんの過去限対策をする(60分)	引プリントを解く、小テスト
授業計画	第8回	88回 ケーススタディ⑦てんかん						て過去問で復習し、小テス
	第9回	自己の治療的利用	II				自己の利用についてまとめる	3(60分)
	第10回	自己の治療的利用	12				次回のワークシート(自己概)	念)を作成する(60分)
	第11回	自己分析①(自己框	既念・長所・自己肯	定感・メタ認知)			今回のワークシートをまとめ	る(60分)
	第12回	自己分析②(エゴク	ブラム)				今回のワークシートをまとめ	る(60分)
	第13回	自己分析③(自分の	の態度・自己表現)				今回のワークシートをまとめ	る(60分)
	第14回	自己分析④(肯定的	ウストローク)				今回のワークシートをまとめ	る(60分)
	第15回	自己分析レポート作	作成と試験につい	τ			ワークシートを元に自己分析分)	レポートを作成する(60
成績 評価方法	期末試験90%, 小	トテスト10% を満たしていない場						
			書名·著	者(出版社)	++		ISBN:	
教科書	生活を支援する精	神障害作業療法 第	第2版 香山明美・小	易直·堀田英樹(中央) N林正義 他 編(医庭 第4版 増補版)編集	b薬出版株式会社)	書院)	978-4-805 978-4-263 978-4-260	3-21933-1
参考書	精神機能作業療法	学 第3版 小林夏子 法 新版・山根 寛	子 編(医学書院)			,,,	978-4-260 978-4-895)-03944-4
教員からの メッセージ							、事前の作業が必要 スカッションには自主	
教員との 連絡方法	kawabata@hc	u.ac.jpにまず連絡	をください。					
実務経験のある教員)実務経験を伴う作業 づいて疾患別の作業						

履修区分 担当者 総合 設し「 程ので で で で の概要 ① 平利 ②修 ② 高。 ④ 地が ※ DF 到達目標 2)作	ア	いて、作業療法の一門基礎分野(解剖学室図る。) いて、作業療法の手門基礎分野(解剖学室図る。) いと豊かな人間性を数・技術を基盤にした。会と協働し、人々のポリシー(科科の) 本では、大な基礎(国の) 本では、大ないでは、大ないでは、大きないでは、は、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	一連の過程を経験を、生理学、運動学、生理学、運動学、生理学、運動学、 生理学、運動学、 生態を から は から は から は から は から は から から から から は から	、臨床医学)と作業療を身につける つける でに対応できる能力・ ニ 卒業までに身に付 びつけることができ や方法、解釈につい 講義内容 一 遊告学習(岩本) 総合学習(岩本) 総合学習(岩本) ついての総合学習(ジカウスの総合学習(ジカウスのといるのとなる) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	授業回数 なみ・山川 敦史・ らとに、作業療法への 法専門分野の知識な を身につける けけるべき資質・能力 る。 て説明ができる。	D理解を深め、臨床 を統合させながら、	に適用できるよう、ま作業療法士として必	ででは、				
授業の概要 総語 認し (記し (記し (記し (記し (記し (記し (記し (記	ア	いて、作業療法の一門基礎分野(解剖学室図る。) いて、作業療法の手門基礎分野(解剖学室図る。) いと豊かな人間性を数・技術を基盤にした。会と協働し、人々のポリシー(科科の) 本では、大な基礎(国の) 本では、大ないでは、大ないでは、大きないでは、は、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	一連の過程を経験を、生理学、運動学、生理学、運動学、生理学、運動学、 生理学、運動学、 生態を から は から は から は から は から は から から から から は から	し、学修した知識をも に臨床医学)と作業療 を身につける つける では対応できる能力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	らとに、作業療法への 法専門分野の知識で を身につける けけるべき資質・能力 る。 て説明ができる。	D理解を深め、臨床 を統合させながら、	に適用できるよう、ま 作業療法士として必 事前・事 講義内容を復習して十分に 講義内容を復習して十分に 講義内容を復習して十分に	ででは、				
授業の概要 認い 程の記 ②修 ③高い ④地地 ※DF 到達目標 教科 履修上の 注意事項	ア	門基礎分野(解剖学室図る。	全、生理学、運動学・ は 身につける た総合的臨床能力 づける能力を身に う健康生活のニーク・学位授与の方針) 截と専門知識を結ち がについて、目的 まがについての を 要学についての を 要学についての を まずについての までは、	、臨床医学)と作業療を身につける つける でに対応できる能力・ ニ 卒業までに身に付 びつけることができ や方法、解釈につい 講義内容 一 遊告学習(岩本) 総合学習(岩本) 総合学習(岩本) ついての総合学習(ジカウスの総合学習(ジカウスのといるのとなる) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	法専門分野の知識を を身につける けけるべき資質・能力 る。 て説明ができる。	を統合させながら、	事前・事 講義内容を復習して十分に 講義内容を復習して十分に 講義内容を復習して十分に	ででは、				
②修名 ②修名 ③高I ④地川 ※DF 到達目標 教科I 履修上の 注意事項	 終われた専門知識 終われた専門知識 終われた専門知識 がはない国際社 がはない国際社 がする。 がりまる。 がりまる。 がりまる。 がりまる。 がりまる。	戦・技術を基盤にした 5、自己を変革しつ 会と協働し、人々の ポリシー(卒業認定 要な基礎価法、介入技 を使用する。 基礎医学(1) オリン 基礎医学(2) 基礎 基礎医学(3) 基礎 基礎医学(4) 基礎 基礎医学(4) 基礎 基礎作業療法学 作 作業療法評価学(1 作業療法治療学(1	た総合的臨床能力 づける能力を身に つ健康生活のニース・学位授与の方針) 截と専門知識を結 統術について、目的 エンテーション 基 整医学についての総 を医学についての総 を医学についての総 を医学についての総 を関係を表の事価	つける でに対応できる能力 の	がけるべき資質・能力 る。 て説明ができる。 合学習(高島)		講義内容を復習して十分に 講義内容を復習して十分に 講義内容を復習して十分に	△ ○ ② ② ② ② ② ② ② ②				
1)作 2)作 2)作 教科i 履修上の 注意事項	作業療法士に必要に 作業療法士に必要に ・	要な基礎科目の知識要な評価法、介入技 要な評価法、介入技 を使用する。 基礎医学(1) オリニ 基礎医学(2) 基礎 基礎医学(3) 基礎 基礎医学(4) 基礎 基礎医学(4) 基礎 基礎作業療法学 / 作業療法評価学(1 作業療法治療学(1	戦と専門知識を結 技術について、目的 エンテーション 基 整医学についての総 を医学についての総 を医学についての総 を医学についての総 で業療法の基礎についての ができる。	びつけることができいか方法、解釈につい 講義内容 一様医学についての総合学習(岩本) 総合学習(岩本) 総合学習(岩本) では、一般できないできないできないです。 の総合学習(岩本)	る。 て説明ができる。 徐合学習(高島)		講義内容を復習して十分に 講義内容を復習して十分に 講義内容を復習して十分に	理解する(60分) 理解する(60分)				
履修上の注意事項	回数 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	基礎医学(1) 才以基礎医学(2) 基礎基礎医学(3) 基礎基礎医学(4) 基礎基礎医学(4) 基礎基礎作業療法学 作業療法評価学(1作業療法治療学(1	を医学についての終 を医学についての終 を医学についての終 作業療法の基礎に)作業療法の評価	総合学習(岩本) 総合学習(岩本) 総合学習(岩本) 総合学習(岩本)			講義内容を復習して十分に 講義内容を復習して十分に 講義内容を復習して十分に	理解する(60分) 理解する(60分)				
授業計画	#10 #20 #30 #40 #50 #60	基礎医学(2) 基礎 基礎医学(3) 基礎 基礎医学(4) 基礎 基礎作業療法学 化 作業療法評価学(1 作業療法治療学(1	を医学についての終 を医学についての終 を医学についての終 作業療法の基礎に)作業療法の評価	総合学習(岩本) 総合学習(岩本) 総合学習(岩本) 総合学習(岩本)			講義内容を復習して十分に 講義内容を復習して十分に 講義内容を復習して十分に	理解する(60分) 理解する(60分)				
授業計画	#2回 #3回 #4回 #5回 #6回	基礎医学(2) 基礎 基礎医学(3) 基礎 基礎医学(4) 基礎 基礎作業療法学 化 作業療法評価学(1 作業療法治療学(1	を医学についての終 を医学についての終 を医学についての終 作業療法の基礎に)作業療法の評価	総合学習(岩本) 総合学習(岩本) 総合学習(岩本) ついての総合学習(別			講義内容を復習して十分に	理解する(60分)				
授業計画	#30 #40 #50 #60	基礎医学(3) 基礎基礎医学(4) 基礎基礎作業療法学(1)作業療法評価学(1)作業療法治療学(1)	歴医学についての総 を医学についての総 作業療法の基礎にない)作業療法の評価	総合学習(岩本) 総合学習(岩本) ついての総合学習(》	变造)		講義内容を復習して十分に	理解する(60分)				
授業計画	第4回 第5回 第6回	基礎医学(4) 基礎 基礎作業療法学 化 作業療法評価学(1 作業療法治療学(1	をを受についての総 作業療法の基礎にない)作業療法の評価	総合学習(岩本) ついての総合学習(派	度邊)							
授業計画	第5回 第6回 第7回	基礎作業療法学 化作業療法評価学(1作業療法治療学(1	作業療法の基礎に) 作業療法の評価	ついての総合学習(※	度邉)		講義内容を復習して十分に	理解する(60分)				
授業計画	第6回	作業療法評価学(1)作業療法の評価		度邉)							
授業計画	第7回	作業療法治療学(1										
授業計画	æ://IDI		作業療法治療学(1) 母関節・神経筋障害・内部障害に対する作業療法介入についての総合学習									
授業計画	第7四 (高島)							理解する(60分)				
	第8回	作業療法評価学(2) CT MRI レン	ルゲン 画像の見方	(宮崎)		講義内容を復習して十分に	理解する(60分)				
	第9回 "	作業療法治療学(2)中枢神経障害は	こ対する作業療法介	入についての総合学	聲(山川)	講義内容を復習して十分に	理解する(60分)				
	第10回	作業療法評価学(3)精神障害領域の	の作業療法評価につ	いての総合学習(川)	畑)	講義内容を復習して十分に	理解する(60分)				
	第11回	作業療法治療学(4)精神障害に対す	する作業療法介入に	ついての総合学習(ノ	川畑)	講義内容を復習して十分に	理解する(60分)				
	第12回	作業療法治療・評価	5学 維持期に対す	る作業療法評価・介	入についての総合学	学習(渡邉)	講義内容を復習して十分に	理解する(60分)				
	第13回	作業療法治療・評価	证学 発達障害領域	ばでの作業療法評価・	介入についての総合	合学習(平尾)	講義内容を復習して十分に	理解する(60分)				
	第14回	臨床医学(1) 臨床	医学・リハ医学につ	ついての総合学習(え	岩本)		講義内容を復習して十分に	理解する(60分)				
			/外科学・病理学等	についての総合学習	3(高島)		講義内容を復習して十分に	理解する(60分)				
成績 評価方法	記試験にて総合	16丁脚で11 ノ。										
ただし	どし、受験資格を	満たしていない場合		しない。 者(出版社)			ISRN	コード				
教科書 PT/0	/OT国家試験必	修ポイント専門基礎 修ポイント専門基礎 修ポイント専門基礎	楚分野基礎医学(B 楚分野臨床医学(B	医歯薬出版) 医歯薬出版)			10014					
PT/(随時網				治療学(医歯薬出版)								
		の総括として、積極	的な受講を期待す	する。試験を通し、作	業療法士としての基	本的知識や技術を	身につけたか否かを	最終的に判断す				
教員からの る。)各担当教員に直接	マーニ 生べ 声ぬす	-z								
教員との連絡方法												
病院 実務経験の ある教員		経験を活かし、各専門	領域の内容につい	いて教育する。			<u>-</u>					

科目コード	R7035	授業科目名			社会参加	加支援論			
履修区分	必修	開講期	2年	後期	授業回数	15回	単位数	1単位	
担当者				山山	敦史				
授業の概要	「参加」をどうと	らえるのか、身体機能 献検索とレビューの	、精神機能、発達述	過程など各領域による	る参加支援の実際を	、講義を通して学	す。本講義では、作業船 んだ後に、演習シートを を読み、レビューを作成	E用いて理解を深	
		る心と豊かな人間性を 口識・技術を基盤にし		を身につける				0	
DPとの関連		ち、自己を変革しつ						0	
		社会と協働し、人々の マ・ポリシー(卒業認定						Δ	
到達目標	1. 作業療法にお 2. 各領域の支援	マネジメントについて マネジメントについて	か、述べることがで を挙げることがで	できる :きる	いるべご 貞良・能力	7			
履修上の 注意事項		容を、演習によって深 ;することに挑戦して		いきます。演習シー	-は毎回提出するよ [.]	うに計画していま	すので、授業中もしった	かりとテーマにつ	
	回数			講義内容			事前·事	後学修	
	第1回	オリエンテーション 演習(1)文献を読		計画の概要を説明す 考える	3		学生自身の参加について考え	રેઢ	
	第2回)の振り返りと、ICFI れるものがどれかを		を講義する	ICFの各項目の意味に触れ、	説明を試みる	
	第3回			爰(1):事例を紹介する こついて調べ、関連す			事例を理解するための知識について、不足があれ べておく.		
	第4回	演習(4)症例の状	態に応じた環境へ	爰(2):事例を紹介す の介入、介護保険の	概要を調べる		事例を理解するための知識に べておく。	こついて、不足があれば	
	第5回			€(1):事例を紹介する 事項を復習し、ACT			事例を理解するための知識に べておく.	こついて、不足があれば	
	第6回	精神機能領域にお演習(6)支援のた		€(2):事例を紹介す。 はについて調べる	3		事例を理解するための知識に べておく。	こついて、不足があれば	
±∞₩=1 -	第7回			爰(1):社会資源につい ム、特別支援学級や通		調べる	事例を理解するための知識に べておく。	こついて、不足があれば	
授業計画	第8回	演習(8)生活行為	についてお互いに	象者の体験と参加の インタビューを経験	する	る 	COPMについて調べ、重要原理解しておく。	き、遂行度、満足度につ	
	第9回	演習(9)自分の作	業について工程分				作業がうまくいかないときの 視点で分析してみる。	状況を、人、環境、作業	
	第10回	演習(10)事例情報	服の中から、社会資	活行為向上マネジメン 登源に関する情報とコ	程分析を行う		障害高齢者の日常生活自立原	度について調べておく.	
	第11回	演習(11)新たな事	事例について、アセ	活行為向上マネジメンスメント演習シートを	作成する		グループ内で決めた役割に沿	いて事前の準備をする	
	第12回			活行為向上マネジメ: ループでプラン演習			プレゼンテーションの準備を	する.	
	第13回	文献抄読会(1):請	義外課題である 々	社会参加支援の文献	発表を行う		発表者は発表の振り返りを、	他は発表練習をしてお	
	第14回	文献抄読会(2):詞	構義外課題である	社会参加支援の文献	発表を行う		発表者は発表の振り返りを、	他は発表練習をしてお	
	第15回			社会参加支援の文献	発表を行う		発表者は発表の振り返りを、	他は発表練習をしてお	
成績 評価方法	課題レポートにて	評定する。評定の尺	度は開講期間中に	提示する。					
<u>Д</u> (СДШТБ	ただし、受験資格	を満たしていない場		<u> </u>			ICDN	¬ ''	
数科聿	資料を配布します	-	青石·者	者(出版社)			ISBN:	7-6	
教科書					-				
<i>₩</i> + - >		第3版選熊 明國学		47.A. F. 15.45.1.115			978-4-260		
参考書		行為向上マネジメント					978-4-263		
教員からの メッセージ	身体や精神の症状 慣を身につけてい)問題を形作る要素	素のひとつです。対象	君を取り囲む環境、	関わる人々、暮ら	しぶりなどの包括的な	視点で考える習	
教員との 連絡方法	事前に、メールlil	y-drg@hcu.ac.jp) で要件や日程調	整をした上で、308	研究室に来てくださ	·()。			
実務経験のある教員	作業療法士として	「病院(入院・外来)お	よび在宅(訪問)0	D臨床経験をふまえ、	知見を交えた講義を	行います。			

科目コード	R7036	授業科目名			生活関連機器論	(含生活環境学	<u>*</u>)	
履修区分	必修	開講期	2年	後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者					邊 哲也			
授業の概要	設、デイサービスセ	ンターなどを中心 えるために必要な ³	こ地域在宅者中心の	りリハビリテーショ	る医療機関、介護老人 ン連携網の構築が言れ 見点や介入方法、法制度	つれている。社会し	ハビリテーションの)観点から、作業療法
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	を身につける					-
DPとの関連		識・技術を基盤にした ち、自己を変革しつ						0
DI CVIXIE		社会と協働し、人々(力を身につける			0
		・ポリシー(卒業認定 した上で、対象者の生			こ付けるべき資質・能力	J		
到達目標	・作業療法における		・に理解した上で、対		法を検討することがで	きるようになる。		
履修上の 注意事項	資料を配付します	ので、バインダー等	で管理し、授業中に	いつでも参照でき	るように各自の責任に	こおいて管理して ⁻	下さい。	
	回数			講義内容			事前·	事後学修
	第1回	生活環境の概念					一般的な住環境について	理解しておくこと
	第2回	基本的知識(住宅・	建築関係)				教科書P204~210の名合わせて確認しておくこ	4名称を、実際の住宅に照らし と
	第3回	基本的知識(生活戶	用具)				建具、廊下、トイレ、浴室な の広さについて確認して	などの一般的な大きさや空間 おくこと
	第4回	移動用福祉用具					教科書P287~315の構確認しておくこと	長々な移動機器の分類について
	第5回	疾患・障害別にみる	る住環境整備				教科書70~、住環境整備 しておくこと	すを行う適応疾患について確認
	第6回	住環境整備の進め	方				住宅改修における法整備	について確認しておくこと
	第7回	住環境整備の基本	的配慮(認知症高數	命者の住宅環境整	備について)		PEAP日本版3の各項目	を確認しておくこと
授業計画	第8回	住環境整備の基本	的配慮(高齢者の信	主宅環境整備につ	いて)		高齢者などへの配慮に関 しておくこと	する評価基準の各項目を確認
	第9回							
	第10回							
	第11回							
	第12回							
	第13回							
	第14回							
	第15回							
成績 評価方法	期末試験50% ノ	'ート課題30% レデ	ボート課題20%					
計順刀法	ただし、受験資格を	を満たしていない場		しない。 者(出版社)			l ISB	Nコード
教科書	OT·PTのための(主環境整備論 第3版						9590-731-6
MILE	-							
参考書								
教員からの メッセージ					・支援やどんな問題の きましょう。人-環境・			
教員との 連絡方法	別途、オフィスアワ	ーを指定します。						
実務経験のある教員								

科目コード	R7037	授業科目名			地域作	業療法学		
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者					藤 佳子			
授業の概要	協働していく中で い物や社会交流、 とで、「できる作業	、作業療法士の果た 通所や通院などでの	す役割は大きい。)課題があったとき	例えば、心身障害者 5 、作業療法士が、そ	や高齢者が生活を営 の生活動作を妨げて	含むための身の回り ている「作業」を分析	値の目標を設定し支援 の「作業」として、セル 所・評価してリハビリラでの対象者の生活・役	レフケアや家事、買 テーションを行うこ
		ら心と豊かな人間性を						_
DPとの関連		コ識・技術を基盤にし らち、自己を変革しつ						© O
DI CONAC	④地域社会·国際	社会と協働し、人々の	の健康生活のニー	ズに対応できる能力				0
		'・ポリシー(卒業認定 険などの保険制度に			付けるべき資質・能	カ		
到達目標	障害者(児)や高齢	合者等への社会生活 療法士の専門知識と打	支援について、作業	業療法士の役割を討	明できる。			
履修上の 注意事項		עを確認するため、授 E持参してください。		-トを提出してもらに	ます。			
	回数			講義内容			事前·	事後学修
	第1回	オリエンテーション・日本や世界におけ			業」の意味について		作業療法についての説明が分)	ができるようにしておく(60
	第2回	日常生活における・バリアフリーやユ		ンの考え方 ン ・ノーマライゼー	ションなどの理念		身の回りのパリアフリーや して観察しておく(60分)	ユニバーサルデザインを意
	第3回	地域におけるリハI・CBR(地域に根差	理論を使って、対象者を包括的に説明することがで ようにしておく(60分)					
	第4回	社会保険制度を知 ・医療保険 ・介護	社会保険制度の枠組みを説明できるようにしてお (60分)					
	第5回	社会保険制度を知 ・高齢者福祉 ・障					社会保険制度の枠組みを致(60分)	里解できるようにしておく
	第6回	介護保険制度にお ・対象疾患 ・介護					介護保険制度の枠組みを致 (60分)	里解できるようにしておく
	第7回	障害者をとりまく? ・対象疾患・障害	身体障害や精神障害に関係おく(60分)	系する疾患や制度を理解し				
授業計画	第8回	障害者をとりまく》 ・障害者自立支援》		援法 ・補装具等の	申請手続き		過去から現在に至る障害者 具申請の流れを理解してま	者のための支援の変遷や補 ら<(60分)
	第9回	地域包括ケアシス・・各自治体や民間の		な施設の総合理解			生活行為マネジメントを使 にしておく(60分)	って対象者を説明できるよ
	第10回	地域作業療法の実 ・対象者 ・評価方		()			作業療法の理論や評価を を説明できるようにしてお	使って身体機能領域の対象 <(60分)
	第11回	地域作業療法の実 ・対象者 ・評価方		()			作業療法の理論や評価を を説明できるようにしてお	使って精神機能領域の対象 <(60分)
	第12回	地域作業療法の実 ・対象者 ・評価方					作業療法の理論や評価を作できるようにしておく(60	使って高齢期の対象者を説 分)
	第13回	地域作業療法の実 ・対象者 ・評価方					作業療法の理論や評価を信 きるようにしておく(60分	
	第14回	地域作業療法の実 ・対象者 ・評価方法					作業療法の理論や評価を使明できるようにしておく(6	
	第15回	地域作業療法の実 ・対象者 ・評価方法		拖設)			作業療法の理論や評価を使明できるようにしておく(6	使って終末期等の対象者を 60分)
成績	期末試験70%、抗	受業内ワークシート3	0%					
評価方法	ただし、受験資格	を満たしていない場	合は評価の対象と	こしない。				
	地域作業療法学	第3版 大熊 明:編		者(出版社)				Nコード 0-03165-3
教科書	S MI NUMA I						7,3 1 20	
参考書	生活行為マネジメ プリントを配付	ント 日本作業療法:	士協会(医歯薬出)	版)			978-4-26	3-21538-8
教員からの メッセージ		≤する範囲が広いた& 身に付けられるよう			未や関心をもってくれ	どさい。これまでの	 授業で習ってきた知	識や技術を総復習
教員との 連絡方法		②授業前後に教室に 基本的に在学していな						
実務経験のある教員	テーション(訪問)		ます。現在は矯正	施設(刑務所)で高齢	計者や障害者のリハ と		機能障害のグルーフ 。当該授業を通して、	

科目コード	R7038	授業科目名			地域作業	療法学演習		
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者					· 佳子		•	
授業の概要	協働していく中で や福祉機器選択な	、作業療法士の果た などの能力が求められ	す役割は大きい。 ¹ る。この授業では	例えば、対象者の状 は、地域で作業療法:	態を把握し、それに「 とが活躍するために、	応じて必要なサーℓ、対象者のどのよう	種の目標を設定し支援 ごス情報の提供、住環 うなところに着目すれ って指導できるよう	境の評価、自助具 ばよいか、実際に
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	を身につける					_
DPとの関連		識・技術を基盤にし っち、自己を変革しつ						© O
DI CONAL	④地域社会·国際	社会と協働し、人々の	の健康生活のニー	ズに対応できる能力				0
		・ポリシー(卒業認定 ・活するための必要な			付けるべき資質・能	カ		
到達目標	対象者の長期と短	期目標に沿って切れ した支援サービスを	1目のない支援を	家族や多職種に説明				
履修上の 注意事項		発表に積極的に参加 持参してください。	ロしてください。					
	回数			講義内容			事前·	事後学修
	第1回	オリエンテーション ・自分の身近な作業					自分自身の作業について会(60分)	分析ができるようにしておく
	第2回	日常生活における ・校内のバリアフリ		ンの考え方 ・デザインを調査しタ	続する		身の回りのパリアフリーや して観察しておく(60分)	ユニバーサルデザインを意
	第3回	地域におけるリハI・理論を用いて対象			様々な理論の違いを理解し	んておく(60分)		
	第4回	社会保険制度を知 ・医療保険や介護(社会保険制度の枠組みを理解できるようにしてお (60分)			
	第5回	社会保険制度を知 ・医療保険や介護(する			社会保険制度の枠組みを致(60分)	里解できるようにしておく
	第6回	介護保険制度にお ・施設から在宅・地		こを整理する			介護保険制度の枠組みを致(60分)	里解できるようにしておく
	第7回	障害者をとりまく? ・対象疾患と障害者		身体障害や精神障害に関係るようにしておく(60分)	系する疾患や制度を理解でき			
授業計画	第8回	障害者をとりまく》 ・障害者制度の変数		祉用具の申請の流	れを整理する		障害者のための支援の変数 きるようにしておく(60分	を受ける という
	第9回	地域包括ケアシス・ ・生活行為マネジメ		君を多職種に説明	できる		生活行為マネジメントをわ しておく(60分)	かりやすく説明できるよう
	第10回	地域作業療法の実・事例をグループで					身体機能領域の対象者に 使い、制度を利用したマネ おく(60分)	
	第11回	地域作業療法の実・事例をグループで					精神疾患の対象者に適したい、制度を利用したマネジ く(60分)	作業療法理論や評価を使 メントができるようにしてお
	第12回	地域作業療法の実・事例をグループで		表する			高齢期の対象者に適した作制度を利用したマネジメン(60分)	業療法理論や評価を使い、 トができるようにしておく
	第13回	地域作業療法の実・事例をグループで		表する			小児の対象者に適した作業 度を利用したマネジメント 分)	・療法理論や評価を使い、 ができるようにしておく(6)
	第14回	地域作業療法の実・事例をグループで		表する			就労支援の対象者に適したい、制度を利用したマネジ く(60分)	
	第15回	地域作業療法の実・事例をグループで					終末期の対象者に適した作制度を利用したマネジメン (60分)	- 業療法理論や評価を使い、 トができるようにしておく
成績	レポート課題70%	6 授業内グループワ	アークまたは個別の	カワークシート30%			•	
評価方法	ただし、受験資格	<mark>を満たしていない場</mark>	合は評価の対象と	こしない。				
	州福作类奏 注学	第3版 大熊 明:編		者(出版社)				√⊐ード 0-03165-3
教科書	地以IF未原本子	おり瓜 人旅 明・編	(区士音阮)				910-4-20	0-03105-3
参考書	生活行為マネジメ プリント配付	ント 日本作業療法:	士協会(医歯薬出)	坂)			978-4-26	3-21538-8
教員からの メッセージ		でする範囲が広いた& 身に付けられるよう			未や関心をもってく/	ざさい。これまで の	 授業で習ってきた知	識や技術を総復習
教員との 連絡方法		②授業前後に教室に 基本的に在学していな						
実務経験の ある教員	テーション(訪問し		ます。現在は矯正	施設(刑務所)で高齢	合者や障害者のリハヒ		機能障害のグルーフ 。当該授業を通して、	

科目コード	R7039	授業科目名				療法		
	選択	開講期	2年	前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	~	1713413743			真湖			
授業の概要	目的や特徴を理解おいて応用可能な	し、医療現場におけ 療法的音楽の実践フ	る役割と意義につい ち法について紹介し	ハて幅広く考えてい ます。また、音楽の	きます。多岐に渡る	音楽療法領域に触 人の心の在り方(例	は音楽の持つ力を活 れる中で、理学療法。 別えばスピリチュアル ます。	および作業療法に
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	を身につける					0
DPとの関連		識・技術を基盤にした ち、自己を変革しつ						0
DFCVI利用		さ、日しを変革して 生会と協働し、人々の			を身につける			Δ
					寸けるべき資質・能力 */ *: 京窓も送出す		71.77	
到達目標	音楽ジャンルや楽品	曲を幅広く知ること	で、適切な音楽選択	?・最適な音楽提供が	こんな音楽を活用する ができるようになる。 か理解できるように	•	るかイメージできる。	こうになる。
履修上の 注意事項	楽器活動等、実際の	のセッションを体感し	してもらう機会を作	っていきます。積極	的に参加して下さい	10		
	回数			講義内容			事前·事	¥後学修
	第1回	イントロダクション ・人と音楽の関りと	は ・音楽が人に与	える影響・音楽療	法とは		自分にとって音楽とはどのる。	ようなものか考えをまとめ
	第2回	音楽療法概論 ・音楽療法の歴史	・音楽療法の生理的	か・心理的・社会的機	能		療法的視点で自らの生活に る。	音楽を当てはめて考えてみ
	第3回	音楽療法のアプロ・ ・身体的アプローチ		チ・社会的アプロ・	ーチ ・医学的アプロ	ーチ	音楽以外でのアプローチ方 プローチ法の違いについて	去と音楽を用いた場合のア 考える。
	第4回	多領域の音楽療法 ・児童への音楽療法	① 去 ・精神科領域の音	音楽療法 ・能動的音	音楽療法		児童領域や精神科領域の音 める。	楽療法の特徴についてまと
	第5回	多領域の音楽療法 ・高齢者への音楽療	② §法 ・様々な音楽シ	バャンルの理解 ・受	動的音楽療法		高齢者領域の音楽療法の特	徴をまとめる。
	第6回	医療領域の音楽療・緩和ケアの音楽療	法 §法 ・神経難病の音	「楽療法 ・総合病院	での音楽療法		医療行為以外にどのような が役立つ場面について考え	ケアが必要か想像し、音楽 る。
	第7回	スピリチュアルペイ・スピリチュアルペ	ンと音楽 インの構造 ・心に角	stれる音楽 ・自己の	D再統合·再構築		目に見えない痛みについてか考える。	どのようなサポートが可能
授業計画	第8回	音・音楽・音楽療法 ・音楽療法の可能性	について 生・作業療法と音楽	Ķ療法 ·総論			音楽の持つ可能性について とめておく。	自分なりに感じることをま
	第9回							
	第10回							
	第11回							
	第12回							
	第13回							
	第14回							
	第15回							
成績	事前事後課題30%	% 授業内活動30	% 最終レポート40	0%				
評価方法	ただ」、	E満たしていない場	今け誕価の対象とし	.tn \				
				(出版社)			ISBN	コード
教科書	資料を配布する							
参考書	音楽療法を知る一	その理論と技法一	宮本啓子・二俣泉(杏林書院)			9784764	405325
シワ自		61V-12-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	5#41=<	M\□++014	S 44-11	÷ \6\4+\6\5\1\ \\\	1+44 = 45 += 1	54.1. 1 1 1 1 1
教員からの メッセージ		対科ではないので、打 らう時間となるよう			り参加してトさい。そ	ョ采坟術は必要あり)ません。これまで知	りなかつた <u>音楽</u> 知
************************************	①メール②講義前	後に直接話しかけて	下さい。					
実務経験のある教員							楽療法の概論にとと かりを示していきます	

科目コード	R7040	授業科目名			回想	療法		
履修区分	選択	開講期	2年	後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	喜齢期の臨床にお	いて 同相療法によ	- ス認知症の予防や		<mark>担ち也</mark> みは、近年めざましく	登展してきている	3	
授業の概要	R,N,Butlorが提り	唱しそれを小林が発	展させた回想療法。	。その基礎的かつ理		者を知る方法とし	って、インタビューを用	いて「その人の生
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	を身につける					0
DPとの関連		識・技術を基盤にし ち、自己を変革しつ						0
DI CVIALE	④地域社会·国際	社会と協働し、人々の	の健康生活のニース	に対応できる能力				© Δ
		・ポリシー(卒業認定 こついて説明でき基			付けるべき資質・能力]		
到達目標	・インタビュー技法		象者の人生の歴史	及び現在の心理状	兄を把握することが [†] 践できる。	できる。		
履修上の 注意事項	演習課題では、実	習を想定したロール	プレイ等を行ってい	きます。対象者に対	付して、回想法を使っ	たコミュニケーシ	/ョンスキルアップを 目	‡指しましょう。
	回数			講義内容			事前·	事後学修
	第1回	オリエンテーション	、回想法の基礎				認知症者の実際について ⁴ 知識を習得しておく	様々なメディアを視聴し、予備
	第2回	回想療法の行動科	学的理解				認知症者の分類について相知識を習得しておく	様々なメディアを視聴し、予備
	第3回	認知症「程度別」回	想療法の実践法				1H話法やあるある探し、う 生活で活用すること	5なづきの技術などを普段の
	第4回	回想療法演習①イ	インタビュースキルを実生活で活用してみよう					
	第5回	回想療法演習②集	団療法(軽度認知症	Ē)			昭和時代前半の時代背景	を調べておくこと
	第6回	回想療法演習③集	团療法(中度認知症	Ē)			昭和時代前半に流行した場こと	吹や遊びについて調べておく
₩₩₽Lim	第7回	回想療法演習④-1	パーミング演習(重	度認知症)			爪を切る、適切な服装をす に行うこと	る、必要物品など準備を適切
授業計画	第8回	回想療法演習④-2	2パーミング演習(重	度認知症)			実際に学んだ技術を普段の	の生活の中で活用すること
	第9回							
	第10回							_
	第11回							
	第12回							
	第13回							
	第14回							
	第15回							
成績 評価方法	提出物課題100%	o O						
АТИЛЛА	ただし、受験資格を	を満たしていない場					ICDA	
教科書			書名·者在	皆(出版社)			ISRI	Nコード -
, 4. 2. 2.		実際・小林 幹児(福		<u>□++</u> 山 ⊮⊏ /				71-50006-0
参考書		ためのシンプル回想			= ====================================			71-50007-7
教員からの メッセージ		トするための専門的 を持った作業療法:			こ、認知症者に対する	コミュニケーショ	ンスキルを身に付ける	ることができます。
教員との 連絡方法	別途、オフィスアワ	ーを指定します。						
実務経験の ある教員	して、年3~4回認		戊講座を開催し、地 は	或住民などへ認知!			を提供している。また では、認知症者の対応	

科目コード	R7041	授業科目名			臨床見	学実習			
履修区分	必修	開講期	2年	前期	実習期間	5日間	単位数	1単位	
担当者		平尾	文・宮崎 洋幸・	川畑 なみ・髙島	千敬・山川 敦史・	・渡邊 哲也・岩本	· 優士		
授業の概要	作業療法の対象者	、実習指導者が行う および実習指導者 業療法士の役割やや	関係職員とのコミニ	ュニケーションを図					
	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	を身につける					0	
	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける								
DPとの関連	③高い倫理観をも	ち、自己を変革しつ	づける能力を身につ	oける				0	
	L	社会と協働し、人々(0	
					付けるべき資質・能力]			
到達目標	・実習を通して学ん	者および実習指導者 んだ以下の2点につい 作業療法内容 ②自会	いてまとめ、パワーフ	ポイントを使用して	刻ることができる 発表することができ [、]	3			
実習先行要件									
履修上の 注意事項	実習に際し合計5 事前オリエンテー:	回の事前オリエンテー ションの日程に関し ⁻	ーションを実施しま ては、掲示板・web l	すので、必ず出席し 曷示板・cラーニン・	ってください。 ブを確認してください	١.			
実習 スケジュール	実習地に関しては 実習後、学生は担	目として実施します、、事前オリエンテーショ 、事前オリエンテーショ 当教員へ課題および を実施し、各自、実	ションで伝えます。 が関係書類を提出し	ます。					
成績 評価方法	·実習先評価:臨床	るよび学内での評価で 見学実習要綱の評 試験・課題提出・発表	価表等						
		を満たしていない場							
	この実習は、事前: 参加しましょう。	オリエンテーションカ	いらはじまります。初	めての実習ですの	で、実習前に学ぶこと	こが多くあります。	実際の実習を楽しむ	ために、主体的に	
教員からの メッセージ		定した後は自身で病	院・施設の情報を集	め、事前学習に取	り組みましょう。				
	各実習担当教員の	研究室に出向くか、	事前にメールでア	ポイントをとってく	ださい。				
教員との 連絡方法									
実務経験の ある教員									

科目コード	R7042	授業科目名			臨床技	能演習		
履修区分	必修	開講期	3年	前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者		川畑	なみ・宮崎 洋雪	 幸・平尾 文・髙島	 ・千敬・山川 敦史	・ ・渡邊 哲也・岩		
授業の概要	臨床にて必要とさ を深める。	れる態度、技能につ	かいて、コミュニケ-	ーション、介助・検査	測定に分けて、それそ	"れ具体的な場面	設定を行い、実際に経	験することで理解
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観をも ④地域社会・国際	心と豊かな人間性? 識・技術を基盤にし ち、自己を変革して 社会と協働し、人々の	- た総合的臨床能力 のづける能力を身に の健康生活のニー	こつける ·ズに対応できる能;	jを身につける 付けるべき資質・能え	h		_ © _ _
到達目標	・臨床で想定される	る様々な場面設定に 定において、適切な!	おいて、必要とさ	れる態度、技能につ		<u> </u>		
履修上の 注意事項	自分で体験しなが使用は禁止します。		P心の授業です。大	学指定のジャージ	ポロシャツを着用して	てください。授業で	中の私語及び携帯電話	・スマートフォン(
	回数			講義内容			事前·哥	『後学修
	第1回	検査測定①脈拍と	血圧の測定				脈拍と血圧の測定について	復習する(60分)
	第2回	検査測定②関節可	「動域測定				関節可動域測定について復	習する(60分)
	第3回	筋力測定について復習する	(60分)					
	第4回	検査測定④形態測	形態測定について復習する	(60分)				
	第5回	感覚検査について復習する	(60分)					
	第6回	検査測定⑥反射検	渣				反射検査について復習する	(60分)
	第7回	検査測定⑦BRS					BRSについて復習する(60)分)
授業計画	第8回	検査測定⑧運動失	調検査				運動失調検査について復習	する(60分)
	第9回							
	第10回							
	第11回							
	第12回							
	第13回							
	第14回							
	第15回							
成績 評価方法	実技試験100%							
п і ЩЛЛД	ただし、受験資格を	を満たしていない場		<u>-</u>				I= Ir
4/L	PT・OTのためのE	臨床技能とOSCE I		著者(出版社) /と介助・検査測定編	第2版·才藤 栄一·f	也(金原出版)		コード 3-26606-9
教科書		臨床技能とOSCE f						7750516
参考書								
教員からの メッセージ	実習前試験も兼ね	ています。実技演習	図の自習時間も設し	ナますので積極的に	取り組んでください。			
教員との 連絡方法	kawabata@hci	u.ac.jpにまず連絡	をください。					
実務経験のある教員	担当する教員は全	:員作業療法士として	ての臨床経験があ	り、その経験を活か	し、実技指導にあたる	00		

科目コード	R7043	授業科目名			基礎臨尿	末実習 I						
履修区分	必修	開講期	3年	後期	実習期間	20日間	単位数	4単位				
担当者		川畑	なみ・宮崎 洋幸	・平尾 文・髙島	千敬・山川 敦史・	・渡邊 哲也・岩本	優士					
授業の概要	質を臨床実習にお	いて再確認するとと	医療・福祉・保健領域 ともに、実践の場面で が実習施設教育者を	でそれらを更に修得	し、セラピストとして	の意識を涵養する。		した知識・技術・資				
DPとの関連	②修得した専門知 ③高い倫理観をも ④地域社会・国際社	ち、自己を変革しつ 土会と協働し、人々(た総合的臨床能力を づける能力を身にこ の健康生活のニーズ	oける に対応できる能力:	-	J		— ⊚ Δ				
到達目標	にて行う。実習の主	P:ディブロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)=卒業までに身に付けるべき資質・能力 実習指導者の実践を観察し、基本的な作業療法評価として検査・測定の技術を模倣し実施することができる。基本的な実習形態は、臨床参加型実習 行う。実習の主目標は、「情報収集の実施」や「面接および開始前の観察」を経て作業療法初期評価計画立案を、臨床実習指導者の実演・指導のもと実 きる。また、様々な対象者に対してオムニバスで検査・測定を行う経験をつみ、対象者への対応技術を観察 - 模倣 - 実践できることを目標とする。										
実習先行要件	習において、各臨月		た、3年次前期まで を充分に理解し、実									
履修上の 注意事項			す。実技的な臨床能; 基礎を修得する科目									
実習 スケジュール	・実習前後のセミナ		日) /ヨン、症例報告会に 崔日などは具体的に			す 。						
成績 評価方法			報告会、実習前・後の 合は評価の対象とし		のルーブリック結果	等を含めて総合的に	こ評価する。					
教員からの メッセージ	作業療法士を目指	す実習生として、対	日は計画の列家とで ・ ・ ・ ・ 象者をリードする初 の対応技能や留意点	めての実習になり			識、作業療法士の役	割、作業療法評価				
教員との 連絡方法	川畑:kawabata											
実務経験の ある教員	担当する教員は全	員作業療法士として	ての臨床経験があり	、その経験を活かし	、実習指導にあたる	•						

科目コード	R7044	授業科目名			基礎臨床	床実習Ⅱ							
履修区分	必修	開講期	3年	後期	実習期間	40日間	単位数	8単位					
担当者		宮崎	洋幸・平尾 文・	川畑 なみ・髙島	千敬・山川 敦史	・渡邊 哲也・岩本	、 優 士						
授業の概要					こ、作業療法場面を約 教育から構成される								
		心と豊かな人間性を						0					
DPとの関連		識・技術を基盤にし ち、自己を変革しつ						© O					
DI CONNE		3高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける ④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける											
					付けるべき資質・能力	カ							
到達目標	・実習教育者の臨・実習教育者の臨	床教育者の臨床思考過程を通して、治療プログラム立案までの過程を理解し説明できる。 習教育者の臨床思考過程を(担当症例の生活課題、プログラム、治療経過及び結果)を理解し説明できる。 習教育者の臨床技能(評価技術・治療技術)を模倣できる。 業療法士として必要な基本的態度(倫理観・リスク管理)を身につける。											
実習先行要件	・3年次前期まではていない場合、許可	原床見学実習、基礎臨床実習 I の単位を修得した者。 日本次前期までに開講した専門基礎分野及び専門分野の必修科目の単位をすべて修得した者。(尚、実習科目の履修は、所定の授業科目の単位を修得し いない場合、許可されない) 「臨床実習において、意義や目的を十分に理解していること。・実習生としての倫理観を身につけ、資質及び態度(挨拶や身だしなみ、行動)が適切であ □ こころは、こころは、こころは、こころは、こころは、こころは、こころは、こころは											
履修上の 注意事項					レチェックも行います なども実習さながら		認をする、メモをとる	る、事前に実施する					
実習 スケジュール	·基礎臨床実習 I を	1年1月15日(月)〜 を終えて、学内での治 ほは学生の義務です。	寅習が始まります。		ま署Ⅱの実習生個/	人資料の作成や説明	などのセミナーが同	時進行します。					
成績 評価方法	実習に行く前の学:ます。	生の取り組みやOS	CE(実技試験)、実	習前筆記試験、実習	習施設教育者による	判定、実習後の学生	の取り組みなど含め	て総合的に評価し					
		を満たしていない場											
教員からの メッセージ					Jます。臨床実習に臨 十分な練習が必要で		をや行動などを振り	区り、修止をかけく					
教員との連絡方法	各実習施設には施	設担当教員がつきる	ます。また、専攻代え	受教員の連絡先にて	のいては、実習前のオ	ドリエンテーションに	て連絡する。						
実務経験のある教員	各実習施設の臨床	S実習施設の臨床実習指導者(厚生労働省が開催する実習指導者講習会を受講した者)											

科目コード	R7045	授業科目名			地域臨	床実習		
履修区分	必修	開講期	4年	前期	実習期間	5日間	単位数	1単位
担当者		ЩЛ	敦史・宮崎 洋幸	・平尾 文・川畑	なみ・髙島 千敬	・渡邊 哲也・岩本	· 優士	
授業の概要					1週間(5日間)の実 職種との連携の実際		法の実践に必要な知	識・技術および態
		心と豊かな人間性を						0
DPとの関連			た総合的臨床能力を づける能力を身に					0
DFCV从庄	④地域社会·国際社	************************************	の健康生活のニース	に対応できる能力	を身につける けけるべき資質・能力	7		0
到達目標	1. 地域における作 2. 通所・訪問や福 3. 地域における多	業療法の評価、アセ 祉用具、住宅改修な ・職種間の連携業務	スメントの手段につ	ついて説明できる。 具体的な実践例を警 業療法士の役割を	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-		
実習先行要件					をすべて習得するこ。 々)が適切であると言		実習の意義、目的を発 要です。	た分に理解し、実習
履修上の 注意事項	1. 実習前セミナー 礎的知識の確認作	では、実習の手引き業を行います。学内	ならびに実習ワーク	クシートの作成方法 ド実習に向けた各自	の目標設定を、施設	る作業療法業務に関	関わりの深い制度・地 設定します。	地域サービスの基
実習 スケジュール	1日目:施設案内や 2日目~4日目:指	学生およびスタッス	つせた計画にそって) 7紹介、実習計画を に見学・模倣(可能な バルーブリック評価	共有.実習生の目標 ☆範囲の実施を含む		シートを随時更新。		
成績 評価方法		B告会での発表の様		9担当教員による学	内教育ルーブリック	評価		
			合は評価の対象とし		明の信仰ルと言める	(A) HATE AND A TILL	ポニキバナフ <i>J</i> ケギギキ	レル発売汁上のソ
教員からの メッセージ	要性は増してきてい作業(生活行為)を	います。 支援する専門職とし		字在感をアピールし	ていくためにも、5E		域における作業療法。 対象者やそのご家族	
教員との 連絡方法	大学では、施設担当	当教員が配置されま)方法を共有してお ます. 大学との連絡に 担当 山川まで(lily	は、その教員を通して	「行います(大学へ <i>の</i> 」、大学へ電話)	電話やメールを活	用)。	
実務経験のある教員			E宅系・通所系)の実 びに地域サービス <i>の</i>		F業療法士です。 療法士として、指導者	者と連携して指導に	あたります。	

科目コード	R7046	授業科目名			総合臨	床実習							
履修区分	必修	開講期	4年	前期	実習期間	9週間	単位数	9単位					
担当者		髙島	千敬・宮崎 洋幸	・平尾 文・川畑	なみ・山川 敦史・	・渡邊 哲也・岩本	優士						
授業の概要	これまで学内外	で学んだ知識・技術を	をもとに、病院や施	段の作業療法士の持	旨導下で臨床経験を	積む。							
		心と豊かな人間性を						_					
DPとの関連	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける ②高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける												
DFCVAE	③高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける 〇 ④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける 〇												
						J	i						
到達目標	・指導者の臨床技能	P:ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)=卒業までに身に付けるべき資質・能力 尊者の臨床思考過程(担当症例の生活課題、プログラム、治療経過および結果)を説明できる。 尊者の臨床技能(評価技術・治療技術)を模倣できる。 療福祉人としての基本的態度(倫理観・リスク管理)を身につける。											
実習先行要件		「臨床見学実習」「基礎臨床実習」ならびに3年次後期までに開講した専門基礎科目及び専門分野の必須科目をすべて履修したもの。実習生としての資質 知識力・技術力・倫理観)及び態度(挨拶・身だしなみ等)が適切であると認められたもの。											
履修上の 注意事項	・実習にあたり、必	ニンテーション、セミラ 要な知識・技術は事 熟読し、意義・目的・『	前に学習しておくこ	ک.									
実習 スケジュール	4月上旬から6月	上旬までの9週間											
成績 評価方法	臨地実習地の評	価表や提出課題、症	例報告会、実習前・	後のOSCE、ルーフ	リック等を含めて総	合的に評価する。							
		を満たしていない場合				Z=1:							
教員からの メッセージ	狭忠別に征认に	以 9 句作来療法評価	頃日、冶療于段なる	こをまとめて、十分	な技術練習をしてお	~							
教員との連絡方法	各実習施設の担	当教員、および専攻・	代表の連絡先は実	習前オリエンテーシ	ョンで連絡する。								
実務経験のある教員	病院や施設での	病院や施設での経験を活かして実習指導者と連携して学生の指導を行う。											

科目コード	R7047	授業科目名			作業療法	学研究法		
履修区分	必修	開講期	3年	後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	W/I 1000 S	14 - 	7.5.1.7.1.7.4.4.1		尾文			III skuldena ne de la S
授業の概要	て発表を行います。	持つ研究論文を採し 。発表後の質疑応答 を開催し、運営も行い	を行うことで、他の	学ぶことができる。 学生の考え方や意	関心のある研究論 見を聴くことができ	文の中から一つを、 、自分の考え方の社	選び、概要をまとめ、 見野を広げることが「	批判的吟味を加え できます。受講生主
		心と豊かな人間性を						0
DPとの関連		識・技術を基盤にした ち、自己を変革しつ						0
		土会と協働し、人々の			」を身につける 付けるべき資質・能力			Δ
到達目標	・自分の関心のある ・4年生の卒業研究	る研究論文を探し、プ	人手することができ 最も興味を持った発	 る 表を1つ選択、感想	見を書くことができる	_		
履修上の 注意事項		を守ってください に保管してください 別な場合は、厳重注詞		ます				
	回数			講義内容			事前·事	事後学修
	第1回	研究とは?研究論	文とは何か?につい	て学ぶ			研究論文の入手の仕方を学	:ぶ(60分)。課題①
	第2回	自分の関心のある	研究論文を探す(於	::図書館)			自身が関心のある研究論文	を一つに絞る(60分)。
	第3回	4年生の卒業研究	発表会に参加する				最も興味を持った発表を1°分)。課題②	つ選択し、感想を書く(60
	第4回	4年生の卒業研究	発表会を振り返り、	グループディスカッ	ッション		自身の卒業研究について構	:想を練る(60分)。
	第5回	研究論文の批判的	吟味とは? 発表会	の運営についてえ	ディスカッション		発表用の抄録の作成(60分	?)。課題③
	第6回	研究論文の批判的	吟味を加えた発表会	축 1 			この日の発表内容について (60分)。	、自分の考えをまとめる
	第7回	研究論文の批判的	吟味を加えた発表会	≘ 2			この日の発表内容について (60分)。	、自分の考えをまとめる
授業計画	第8回	研究論文の批判的	吟味を加えた発表会	₹ 3			この日の発表内容について (60分)。	、自分の考えをまとめる
	第9回							
	第10回							
	第11回							
	第12回							
	第13回							
	第14回							
	第15回							
成績 評価方法	この授業は試験は	実施しません。各課	題(①~③)の提出は	らよび発表で評価し	少ます。			
	ただし、受験資格を	を満たしていない場合	合は評価の対象とし 書名・著者				I ICRN	ロード
教科書	資料を配布します。)	61 15				1351	□ 1
参考書								
教員からの メッセージ	授業はアクション・	リアクションによるこ	コミュニケーションで	で成り立ちます。 <u>積</u>	極的に楽しみながら	受講してください。		
教員との 連絡方法	パソコンのアドレス	までメールを送って	てください。aya.72	2710@hcu.ac.j	р			
実務経験の ある教員								

科目コード	R7048	授業科目名			卒業研	开究 I					
履修区分	必修	開講期	3年	後期	授業回数	8回	単位数	1単位			
担当者		平尾 文・宮	宮崎 洋幸・牧田 誓	亨介・川畑 なみ・	髙島 千敬・山川	敦史・渡邊 哲也	・岩本優士				
授業の概要	的分析を行い、その	D結果を考察する技	能を身につける。		証室るまでの過程? −マを見つけ、科学的						
①平和を希求する心と豊かな人間性を身につける 											
	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける ◎										
DPとの関連			づける能力を身につ					0			
	L		の健康生活のニーズ					Δ			
				1 - 1	けるべき資質・能力	J					
到達目標	・研究計画を立てる・研究対象者への依	Rテーマを決め、先行研究および関連文献を収集できる R計画を立てることができる R対象者への依頼と倫理的配慮ができる R計画に基づいて研究を実施できる									
履修上の 注意事項	卒業研究担当教員	と緊密に連絡をとり	J、研究を進めてくた	ごさい。							
成績 評価方法	卒業研究抄録の作	成及び内容で評価を	をします(100%)。								
			合は評価の対象とし								
教員からの メッセージ		結した演習を行った	この	マを決め、主体的に	取り組んでください	١.					
教員との 連絡方法	各担当教員の研究	室に出向くか、メー	ルで連絡をとってく	(ださい。							
実務経験のある教員											

科目コード	R7049 授業科目名 卒業研究Ⅱ							
履修区分	必修	開講期	4年	後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	平尾 文・宮崎 洋幸・牧田 亨介・川畑 なみ・髙島 千敬・山川 敦史・渡邊 哲也・岩本 優士							
授業の概要	作業療法あるいは保健医療福祉に関する領域の中から、学生各々の関心に基づいた研究テーマを設定し、研究を行う。その結果をまとめ、論文を作成して卒業研究論文として提出するまでの一連の過程を実践する。具体的には研究テーマを選び、その意義づけができること、研究計画を立案できること、研究を遂行し、それをまとめ報告ができることを目標とする。							
DPとの関連	①平和を希求する	心と豊かな人間性を	を身につける					0
	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける							0
	③高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける							0
	④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける							0
	※DP:ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)=卒業までに身に付けるべき資質・能力 学術集会形式で単独または共同で口述発表でき、質疑や座長、進行等の運営ができるようになる。							
到達目標	子術集会形式で早	独または共向ぐロッ	业先衣 ぐさ、貝疑や	坐長、進付寺の連呂	かぐきるようになる	0.		
履修上の 注意事項	卒業研究指導担当教員と緊密に連絡をとりながら、研究を進めてください。							
成績 評価方法	研究発表までのプ	ロセス発表で評価す	る(100%)。					
	ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教員からの メッセージ	大学生活を締めくくる科目です。楽しみながら主体的に取り組んでください。							
教員との 連絡方法	各担当教員の研究室に出向くか、メールで連絡をとってください。							
実務経験のある教員								